

No.32 >>> Contents

●提携支援センターから

- 提携グループなどに、平成 26 年度以降、財団法人大日本蚕糸会が独自に助成
 ・ ・ ・ ・ ・ 財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター ————— ①
- 『風土 31 と結城紬産地の今後』
 ・ ・ ・ ・ ・ 結城紬風土 31 研究会 事務局 小倉 進吾 ————— ②
- 国産繭の特徴を活かす糸づくり（多種多様な純国産生糸を提供）
 ・ ・ ・ ・ ・ 株式会社 宮坂製糸所 専務取締役 高橋 耕一 ————— ⑥
- 「日本絹の里開館 15 年周年を迎えて新たな情報発信」
 ・ ・ 公益財団法人 群馬県蚕糸振興協会 次長兼チーフディレクター 上野 邦彦 ————— ⑫
- 平成 25 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ・ ・ ・ ・ ・ ————— ⑮
- 提携支援センター活動日誌 ・ ・ ・ ・ ・ ————— ⑲

●蚕糸絹情報

- 第 1 回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール ・ ・ ・ 財団法人 大日本蚕糸会 ————— ⑳

●蚕糸絹トピックス

- 伊勢神宮に純国産生糸を毎年献納
 ・ ・ ・ ・ ・ 蚕糸・絹業提携支援センター 羽田 有輝 ————— ㉓

●全国連絡協議会だより

- 多くの参加者を得て札幌三越「純国産宝絹（takaraginu）展」を開催 ・ ・ ・ ・ ・ ————— ㉗

●国内情報

- シルク遺産を訪ねて⑪ 八王子市郷土資料館
 ・ ・ ・ ・ ・ 東京産業考古学会 副会長 平井 東幸 ————— ㉙

●イベント情報 ————— ㉛

●現在、活動している提携グループの内容一覧 ————— ㉞

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 ————— ㉟

●蚕糸絹関係博物館一覧 ————— ㊱

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧 ————— ㊴

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。） ————— ㊷

提携グループなどに、平成 26 年度以降、 財団法人大日本蚕糸会が独自に助成

財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター

蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業は、平成 25 年度が最終年次となっています。このため、一部の養蚕農家、提携グループの方々から、26 年度以降助成がないと事業の継続に不安があるとの声が寄せられています。

財団法人大日本蚕糸会は、この状況を打開するため、去る 6 月 25 日開催の理事会において、本会独自に各提携グループに対して「繭 1 kg 当たり 1,200 円の助成」などを行うこととし、了承を得ました。

この助成については平成 26 年度予算計上となりますが、関係者には早い時期に助成を行う方針を伝えることで、今後の事業推進がスムーズに運ぶと考えた結果です。

具体的には、

- ①比較的高額な上代設定ができる純国産絹製品の安定的販売ができるまでの、繭代等の経費に対する助成（提携グループが購入する繭量に応じて、1,200 円/kg を助成。特殊蚕品種の繭等には加算を予定）
- ②多品種少量生産、広域化等による掃立時期の多様化等に対応した稚蚕飼育の再編

に伴う施設の改良及び稚蚕の安定供給への助成

- ③高品質あるいは国産繭・生糸の特徴を生かした純国産絹製品の開発及びそれらに伴って発生する比較的品质のよい選除繭の利用に対する助成
- ④純国産絹製品の PR、販売促進等及び純国産絹マークの管理等の実施に対する助成が主なものです。

また、この助成期間は平成 26 年度からの 3 年間としております。

各提携グループの活動は、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の実施期間中の「東日本大震災」の発生により、着物など絹製品等嗜好品の消費減退が生じるなど厳しい環境下におかれてきました。

今後各提携グループの存続を図っていくためには、養蚕農家、製糸業者、絹織物業者等関係者全員が元気で活躍していかなければなりません。どれか一つでも欠けるとグループの存在価値がなくなります。

今回の助成措置を行うことにより、純国産絹製品の販売力が向上し、自力での活動ができることを目指します。

『風土 31 と結城紬産地の今後』

結城紬風土 31 研究会

事務局 小倉 進吾

まずは関心から

純国産繭の認知度を高めるには？繭についてもっと関心を持ってもらうには？絹のことで話に花が咲いたなんてことになったらおもしろい！などと最近考えております。これは業界の方であれば皆さんお考えになったことがあるのではないのでしょうか？

まずは蚕との付き合いは数千年前から続いている訳ですから、これまでにいろいろな夢やロマンがあったことと思います。各地養蚕の歴史、横浜港での取引、シルクの性能の高さ、先端医療への期待など身近な話をすることで興味や関心を促すことになるかと思います。二つ目に、コーヒーが原料である豆の品種、産地によって様々な味や香り、コクを楽しめるように、結城紬でも朝日×東海や笹繭、小石丸、あけぼのなど蚕種によって、同じ無地でも着心地や肌触りなどテイストは異なります。この違いを知った時、消費者はまた着物に新たな関心を抱くと考えます。

まずは産地から

ここ数年、市場には種々雑多な「結城紬」なるものが溢れるほどに出回っています。

確かに呉服業界では昔から有名産地の名を語った商品が当たり前のように販売されてきました。

結城紬産地でもオリジナル製品を「〇〇結城紬」などとして市場に送り出してきました。しかし、この状態をそのまま放置しておくことは消費者に誤解を与えかねません。この度、本場結城紬卸商協同組合では、今後の基本的なスタンスを検討し結論を出しました。

現在の法律では、第三者が無差別に使用している結城紬という名称を法的に排除することは非常に困難です。

そこで、本場結城紬卸商協同組合員は本場結城紬の産地以外で生産された製品に「結城紬」という名称を使用することを自粛し「先ずは、自分たちから範を示そう」それから、業界全体に理解と協力をお願いすることで一致したところです。

似て非なるもの 結城紬と結城紬風

人物や技術、材料、思想などこれまで素晴らしい、美しいとされてきたものは時代を超えて受け継がれ、比較され、追走され、そしてどこかで真似をされてきました。『結城紬』も千年以上に及ぶ長い歴史の中でそ



本場結城紬の機織り

の技術、品質が守られ今日があります。しかしそれは、いわゆる類似品、非なるものとの戦いでもありました。

ミサワホームの元社長三澤千代治氏は、工業化住宅を語るとき、よくマーガリンの例を引用したそうです。バターは、うまいが高くて生産量にも限界がある。特に経済、食糧事情の悪かった戦後日本では、多くの人たちが高価なバターをあきらめて低価格のマーガリンを購入しました。経済が成長しバターを購入できるようになったころ動物性脂肪の摂りすぎが問題視されるようになりました。健康面からも優れているといわれ、品質や味はますます向上し、マーガリンは大変人気となりました。ここに本物を超越した、工業製品の真の価値がある、と教育したそうです。本物をまねし続けるのではなく、工業製品だからこそできる、本物とは異なる機能や良さがたくさんあり、さらにはローコストであると明確にいえらなければならない、といつも話されたそうです。

さて、ここで考えてみたいと思います。バターを使ったお菓子を結城紬、マーガリンを使ったお菓子を結城紬風と置き換えます。まず私は、安価で使いやすく便利なマーガリン（結城紬風）を否定するつもりはありません。むしろ小倉商店でもバターのお菓子とマーガリンのお菓子両方を扱っております。問題はその見せ方や名称、紹介方法にあります。

バターを使ったお菓子とマーガリンを使ったお菓子、二つを並べ販売するとします。色や形、大きさまで非常によく似ていますし、バターのお菓子とマーガリンのお菓子、そのどちらもおいしく出来ています。しかしバターを使ったお菓子をクッキーという名で販売するのであれば、マーガリンを使ったお菓子はクッキーとは違う商品名を使うべきでしょう。そして販売する側は、その違いを理解し、明確にわかりやすく表示する必要があります。なぜなら、この二つのお菓子（結城紬と結城紬風）は、素材、生産者、コスト、工程、技術、道具全てがまるで異なるからです。そして決定的な違いはやはり味、似てはいますがマーガリンにバターの味は絶対に出せません、別物なのです。バターはバター、マーガリンはマーガリン、どんなに似ていても、それらはどこまでいっても非なるものであり、そのお互いが代わりをすることも、また補うこともあり得ないと考えます。

消費者側も「安いし、見た目も味も似ているのだから」と安易にマーガリン側ばかりを選んでみると、バタークッキーの味は

永遠に知り得ません。結城紬に限らず工芸品、食品、装飾品など各分野で頑なにバターを使い続けているマイスターが必ずいらっしゃいます。身の回り品すべてにとは言いませんが、どうか少しでもバターを選択していただければと思います。売り手が結城紬風を結城紬と称して、あるいはそう誤認させての販売をしていること、そして消費者側もその違いが判らず結城という名前にのせられ、購入されている方が大勢いらっしゃる方が非常に残念です。また、そのようなことを正していくことが我々関係者の使命と考えております。

風土 31 研究会はプロ集団

最近、人間が生活していくうえで基本的な柱となる衣食住ですら、多くの方がその技法や材質、産地、作り手などにこだわるよりも、デザイン性や納期、価格といった表面的な部分にのみ関心があるような気がいたします。もっともいわゆる名工といわれる作り手が、減っていることもまた事実です。大げさに言えば、このままでは衣は化学繊維、食はレトルト、住はプレハブしか選択しないできない、などといったことにもなりかねません。

現在国内の絹需要のうち、国産繭で賄われているのは1%にも及びません。国産繭を使うということは、単にコストが高くなるというだけではなく、不安定な材料（繭）の確保、限られた反数、生産管理など目に見えない部分での負担やリスクが大きいからです。

そのような中、結城紬産元である（株）小倉商店では、純国産結城紬をコンセプトの一つとしています。そして純国産結城紬をつくるにあたり、風土 31 研究会という養蚕から製織までをこなす提携グループを結成しました。養蚕農家から真綿商、生産者、企画など製作に携わる者すべてが、最高の結城紬を着てもらうという思いのもとに集まったその分野における究極のプロフェッショナル集団です。

蚕品種は結城紬に最適とされる朝日×東海、繭の収穫は湿気の少ない晩秋産のみ、真綿は繭が新鮮な生掛け法など最高の結城紬を作るために時間も労力も惜しまない者たちです。そうして織り上がった反物は、艶がある、なめらかだ、毛羽が少ないなどの高評価をいただいております。風土 31 研究会には全メンバーの工夫と意地そして大日本蚕糸会の蚕糸・絹業提携支援センターの協力の下に、正しいブランド力の向上を目指しています。生産性は低く、コストは高いというものですが、国産繭を扱える



紺の柄合わせ

ことが1%の奇跡としてとらえ、今後とも継続して参ります。

今、結城紬産地では

結城紬は、茨城県結城市を中心に八千代町、栃木県小山市、下野市等で生産されています。

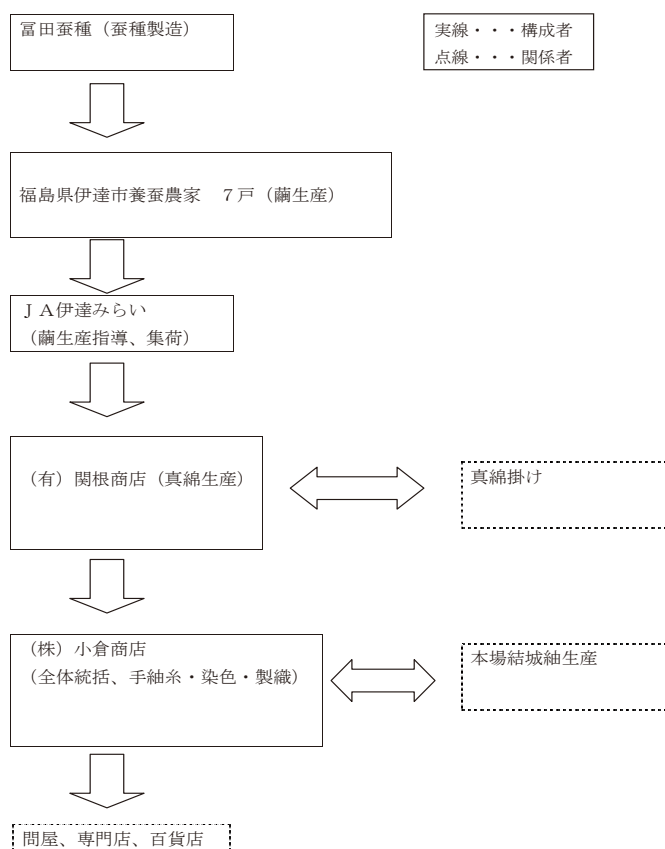
この度、小山市ではユネスコ無形文化遺産である結城紬を守るため「本場結城紬復興振興5カ年計画」を策定、スタートさせました。現在結城紬産地は、後継者不足で技術継承が危ぶまれている、また生産者の多くが生業として成り立っていないというのが現状です。組合員数も1975年に850

軒あったものが47軒にまで減少しております。上記計画は、研修生を市の一般職員として採用し、生活を安定させたいうえで、確実に技術を継承できる体制づくりを目指すものです。

また現在、分業制が基本ですが、各工程において技術者が減っているため、研修生には一人で複数の工程を習得してもらい、それらを1か所に集約した「共同作業場」の設営も想定しています。また新商品の開発、新たな生産体制などを計画に盛り込んでいます。是非とも成功させ、純国産絹製品生産者が少しでも潤うことを期待しているところです。

<別記>

結城紬 風土31研究会の体系図



国産繭の特徴を活かす糸づくり (多種多様な純国産生糸を提供)

株式会社 宮坂製糸所

専務取締役 高橋 耕一

1. 宮坂製糸所の概要

当社は、昭和3年創業、従業員数は現在12名です。年齢構成は40代が6名、50代1名、70代2名、80代3名で、以前より年齢層の幅が広くなり、近年は若い方が技術を継承しております。

当社の繰糸機械は、諏訪式座繰機、上州式座繰機、自動繰糸機等があり、日本の製糸技術史を代表する繰糸機三方式を主に稼働させています。さらに、蚕糸科学研究所と地元機械メーカーとの共同による太繊維度低張力繰糸機（当社では「銀河シルク繰糸機」と呼称）や極細生糸繰糸装置等の新たな繰糸技術の開発も行っています。伝統的な生糸から新技術によるものまで、ニーズに細かく対応し、小ロット多品種生産を行っているのが特徴です。

そして現在、当社としては大日本蚕糸会が実施している「蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業」の趣旨を理解し、製糸業の立場から純国産絹の稀少性を活かした純国産絹製品づくりを通じて、蚕糸業の再生に寄与すべく鋭意取り組んでいます。特に、代表企業として2つの提携グループ（宮坂製糸シルク工房の会、千葉県ブランド繭推進協議会）及びこの他7つの提携グループ（グループ167、白繭細1号プロジェクト開発チーム、富岡シルクブランド協議会、綾の小石丸の会、東京シルクの会、信州繭ブランド織物振興会、信州オリジナル絹の会）と連携しているため、多種多様な蚕品種を原料として繰糸方法の異なる上述の多様な繰糸機を駆使して純国産生糸を各ユーザーに供給しております。



写真1 諏訪式座繰機



写真2 上州式座繰機

2. 国産繭の特徴を活かす糸づくり

国産繭の特徴を活かす糸づくりについて、宮坂製糸所の取組方法をご紹介します。

当社では様々な繭と繰糸手法の組合せで、特徴的な生糸を生産し、外国産生糸との差別化を図っています。純国産の絹製品はストーリー性や品質面でそれなりの工夫が求められており、素材となる生糸づくりの段階でも要望が細かくなっています。製品づくりから販売に関わる方まで、素材である生糸の繰糸方法についても知っていただき、ものづくりを進めることが肝要と考えています。

(1) 生糸づくりの前提条件

①繰糸方法の違いによる生糸の種類

絹製品の素材となる生糸の特徴を理解し、これを活かすためには、繰糸方法の違いによる生糸の種類を整理・分類する必要があります。当社では、図1のように生糸の種類を分かりやすく分類してその特徴を説明しています。図1の縦軸は織度偏差(生

図1 繰糸方法の違いによる生糸の種類

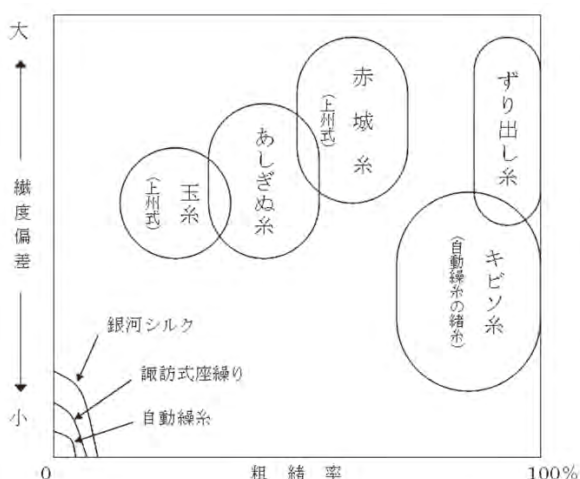


写真3 FR式自動繰糸機

糸むらの状態)、横軸は粗緒率(繭糸の正緒か未正緒の状態)を示しています。横軸には繭糸の抱合やかさ高、柔らかさ等をあてはめることもできます。このように図式化することで、繰糸方法と生糸の種類・特徴の関係をイメージしやすくしています。

②繭の種類・処理方法と繰糸方法の組合せ

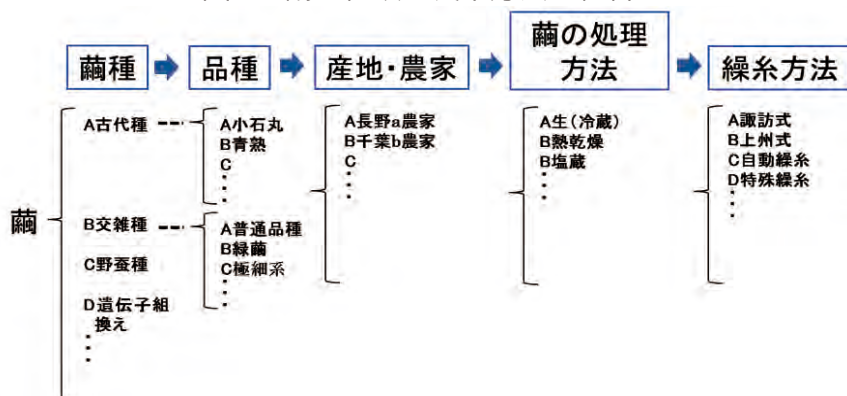
図2に示したとおり、繭の種類、蚕品種、処理方法と繰糸方法との組み合わせで、多種多様な生糸種類を繰糸することができます。また、繰糸方法の中でも、目的とする製品により生糸織度も様々となります。生糸に多様性があることを理解してもらうことで、製品、用途に適した方法(組合せ)を提案し、その特徴を活かした製品づくりを企画することが出来ます。

(2) 国産繭の利点

生糸作りの前提条件をもとに、国産繭の利点を整理すると、以下のようなことがあげられます。

- 生繭で入手・使用でき、様々な処理が可能(冷蔵・冷凍保存、塩蔵、炭利用

図2 繭の種類と製糸方法の組合せ



による低温乾燥等)

○繭の品質に応じた選択、使用が可能（産地や生産者別）

○蚕品種の選択性や多様性があること

このように、国産繭は生繭の状態でも入手、利用でき、蚕品種や処理方法により多様な選択性があるのが、国産繭の特徴・利点であると考えられます。さらに、当工場では、繭の種類、蚕品種、処理方法と繰糸方法との組み合わせで、多種多様な生糸を繰糸することが可能です。用途に適した手法を選択し、特徴ある純国産絹製品づくりをすることが可能となります。

3. 宮坂製糸所の事例

前述の国産繭の特徴を活かす糸づくりを現場で実践した宮坂製糸所の主な取組み事例を紹介します。

(1) 太繊維度低張力糸「ふい絹」を利用した製品開発

（普通蚕品種→長野県→乾繭→特殊繰糸）

蚕糸科学研究所との共同で開発した「太繊維度低張力繰糸機」で繰糸した「ふい絹」を使用し、その特徴を活かした帯（夏帯）を製作しました。ふい絹は繭を一度に300粒以上で繰糸した1,000デニールもの生糸で、柔らかくよじれた扁平状態が特徴です。精練せずそのまま使用することで、さ



写真4 太繊維度低張力繰糸機（銀河シルク繰糸機）



写真5 上が銀河シルク生糸、下が普通生糸



写真6 銀河シルク夏帯

らにその特徴が際立ちます。製織は夏帯に適した「振織（もじりおり）加工」で、他の絹又は繊維では表現できない独特な風合いになりました。この製品は、当社を代表とする提携グループで製造・販売を取扱っております。

（２）提携グループによる信州ブランドの構築

（普通蚕品種→長野県→乾繭→諏訪式・自動繰糸）

提携グループの信州オリジナル絹の会（代表：（株）丸万中尾）では、上伊那産の繭を当工場で繰糸し、県内で製織・染色しています。さらに生地を江戸小紋に染め、よりオリジナル性の高い製品を製作しています。長野県で養蚕、製糸、製織を一貫して行う企画商品の一つです。各種展示会を通して商品製作のプロセスやその特徴を丁寧に説明し、純国産オリジナル製品の販促活動に力を注いでおります。

（３）超極細生糸の開発と製品化に向けて



写真7 信州オリジナル絹の会による信州ブランド製品

（特殊蚕品種→蚕研・生物研（岡谷）→特殊繰糸）

大日本蚕糸会貞明皇后蚕糸記念科学技術研究により、極細生糸繰糸装置を共同開発しました。極細品種の繭を用いて超極細生糸（7デニール前後）を利用した高付加価値の製品を開発することは、今後の日本の蚕糸絹業の技術を存続していくための方策の一つになると考えています。繰糸装置は、ロードセル（張力）、スラブキャッチャー方式による織度管理、節管理装置、電気的な小枠停止装置、ステンレスボビン等への直繰など、全く新しい繰糸機構を取り入れるものです。また、装置は従来機種にも応用できると考えています。超極細生糸から通常の生糸まで、織度偏差や節において高品質で、さらに、生糸製造工程を簡略化した糸づくりを目指しています。世界最薄の絹織物の製作や医療分野での利活用が見込まれます。

（４）良質な生繭を使用した生繰り手法

（普通品種→長野県・千葉→生繭→座繰



写真8 極細生糸繰糸装置

り→個人作家・下村ねん糸)

通常の生糸は繭を熱風乾燥し乾繭にしてから繰糸をしますが、当工場では春～秋の良質な繭を生繭のまま冷蔵保存して諏訪式や上州式による生繰りを行っています。生繰りの生糸はタンパク質が変性していないことから乾繭の生糸と比べて色がとても白く、染色性が優れています。生繰りは国産繭でしか対応ができないことから、外国産との区別化、国産繭の特徴を活かす手法になると考えています。当工場で生産する生繰りの生糸は、主に個人作家に好まれて利用されています。

(5) シルクの利活用の多様化

(健康志向商品、シルクパウダー、シルク石鹸等)

シルクは人の肌にとっても良い天然繊維ですが、日常生活で利用される機会はなかなかありません。そこで、繊維以外にシルクを身近に手軽に利用する方法として、シル

ク成分を配合した石鹸に着目しました。

当製糸工場で製造した良質な絹を原料とした「ミヤサカ・トリートメントシルクソープ」は、多くの方々にシルクの良さや魅力を感じてもらうことで、長野県や日本の蚕糸絹文化を考えるきっかけになればと作られた商品です。石鹸製造は、シルクを利活用する的確なコンセプトと製造技術をもっている(株)絹工房(茨城県牛久市)に依頼しています。



写真9 シルクソープ

＜ミヤサカ・トリートメント

シルクソープの特徴＞

- ・国産(長野県産)繭からできる良質な絹のみを原料とし安全・安心
- ・絹フィブロインが主成分で生体適合性(親和性)が良く、健康肌へ
- ・無香料、無着色、合成界面活性剤不使用の肌に優しい石鹸
- ・コシ、弾力のあるクリーミーな泡立ちで洗いあがりがしっとり艶やか
- ・不純物を除去した高品質の石鹸素地を使用し、石鹸が溶け出さずとても長持ち

4. 今後の課題

(1) 製品づくりのシミュレーション

製糸工場の生糸生産は、多品種少量生産化しており、生産性が低く、経費も高くなっているのが現状です。特殊品種等の生糸生産、特徴的な製品づくりに対応するためには、繭から製品化まで、生産コストを勘案して適正な方法をシミュレートし、目標設定や価格設定を適宜見直していくことが必要となります。

(2) 量と品質が安定した繭の生産

生糸づくりは総じて繭の性状、解じょの良い繭で安定生産され、その品質が後の工程に影響します。現在高齢化している養蚕では、安定した繭生産、品質向上には限界があります。解じょの良い繭をつくるには温湿度管理が重要であり、特に極細品種等の繭はその影響を受けやすく適切な条件での生産管理が必要です。

(3) 技術の継承と機械類の維持管理

養蚕、製糸、撚糸や製織も含めてその技術を維持し、機械類をメンテナンス・調整するには様々な問題を抱えています。特に部品類は現在生産されていないものも多くあるため、ストックに限りがあり、代替品での応用や新たに製作することが必要とな

り、コストもかかるようになっていきます。

5. 当社の今後の展開

当社は、岡谷市が推進している新岡谷蚕糸博物館（旧農業生物資源研究所）への移設の事業を予定しています。博物館展示と生産工場を一体化し、動態展示をすることで、日本の蚕糸絹業の歴史や技術の啓発の場、情報発信の拠点になることが期待されます。

提携グループの構成者の研修の場としても活用できると共に、講座開設や体験、販売等により、一般消費者に純国産生糸の理解を深める契機となり、絹需要促進を図ることが可能となります。さらに、岡谷市と連携しての新蚕糸博物館移設設置事業を推進することは、養蚕事業の復活、技術を承継するための人材確保、新たなシルク新商品の開発等の事業にも挑戦する途が開けることになります。

同時に、当社の工場として理想的な施設配置、生産環境を確保し、製造・加工した純国産絹製品等の直販、自社ブランド製品の開発等の事業展開も図る所存です。

絹や生糸の知識を深めてもらう拠点として、勉強や体験したり、絹に興味のある人誰もが自由に訪れることのできる博物館になれば幸いと考えております。



宮坂製糸所
MIYASAKA SILK REELING CO.

「日本絹の里開館 15 年周年を迎えて新たな情報発信」

公益財団法人 群馬県蚕糸振興協会

次長兼チーフディレクター 上野 邦彦

日本絹の里は蚕糸・絹業に関する情報発信の拠点として、養蚕から絹織物まで親しむことのできる展示機能と染め織り等の体験学習機能を備えた群馬県の施設として設置され、平成 10 年 4 月 24 日に開館し、本年開館 15 周年を迎えました。この間、蚕糸業の歴史やカイコの生態等蚕糸絹業に関する様々な情報を発信してきましたが、その概要について、特別展や企画展等の開催状況を中心に紹介したいと思います。

これまでの数々の特別展・企画展

平成 10 年の開館当初には開館記念特別展「シルクは時空を越えて」や第 1 回企画展「絹の美しさ」等を開催し、平成 11 年度から 14 年度までは、蚕種や製糸などをテーマにした企画展を開催しております。平成 14 年度には新春特別企画「辻村寿三郎人形展」を開催しており、この人形展は人気が高く、今年度で 11 回目を迎えるこ

ととなりました。平成 15 年度には特別展「桐生の織物展」を開催し、群馬県の伝統の織りについて紹介しました。さらに特別企画展として「竹本京 ちりめん創作人形展」を開催しました。ちりめん創作人形展は大変人気があり大勢の人にご来館いただいています。平成 17 年度には世界遺産関連企画展として「旧官営富岡製糸場展―世界遺産登録をめざして」を開催しました。



写真 1 カイコをテーマにした夏の特別展

平成 18 年度の特別展「まゆクラフト展」では、それまで群馬県内の作品を対象として開催していたものを全国から広く公募、展示し、毎年開催を続けまゆクラフト作品展の充実を図っています。

平成 19 年度には、シルクと文学のかかわりについての企画展「文学の中のシルク」を開催しました。平成 20 年度の特別展では、全国都市緑化フェアが群馬県で開催されることに合わせて、植物に関係した特別展「着物を飾る植物紋様と桑の仲間たち」を開催しています。また、子ども向けのカイコをテーマにした特別展を夏休み期間に合わせて開催し、子どもたちにカイコに触れながら学習できる場を設けました。なお、このカイコをテーマにした特別展は、蚕糸への理解を促進するため毎年開催しています。

蚕糸・絹業に関わる最新の研究などを紹介する企画展として「進化するシルクの世界」を平成 20 年度並びに 21 年度の 2 回開催し、遺伝子組み換えカイコの繭やそれから作られた光るシルクなどを展示しました。



写真 2 世界遺産関連常設展示

平成 21 年度には群馬県で富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録推進運動が進められるなか、特別展「輝くシルク群馬の製糸―世界遺産を目指す富岡製糸場を中心に」を開催し、それ以降も毎年、高山社や荒船風穴、田島弥平旧宅を紹介する特別展を開催してきました。

また、企画展としては「子どもの晴れ着とちりめん細工」「源氏物語の雅な世界―公家女房の絹衣装変遷」などを開催し、好評を得てきました。

平成 22 年度には企画展として「華やかな婚礼衣装―きものの美」の開催や京都の西陣織会館との姉妹提携を記念した企画展「今に生きる織物産地―西陣」を開催し、西陣の至宝である貴重な所蔵品を展示することができました。

さらに蚕糸絹業に関連した文化等を紹介する展示として平成 23 年度には、企画展「ちりめん細工の美―四季の傘飾り」などを開催し 24 年度には企画展として、「源氏物語と優美な衣装―光源氏の舞・紅葉賀」などを開催しました。

また、蚕糸絹業関係者の交流の拠点として位置づけている特別展「日本絹の里工芸展」は、友の会の皆様の発表の場としての役割を持っているため日本絹の里の友の会との共催により、会員及び染織作家の作品を展示し、毎年開催されております。以上が特別展、企画展等の主な開催状況ですが、これらのほかにも繭や絹に関する体験学習では、草木染めや型染めなどの染色体験や手織り体験、繭を使った繭クラフト体験を



写真 3 日本絹の里 15 周年記念式典

開館以来継続して行っています。また、最近では和布細工や座繰りから撚糸や手織りなどを一貫して体験できる「繭から織物まで」の体験を開催してきました。

開館 15 周年を迎えての記念事業

日本絹の里では、群馬の伝統産業である蚕糸業の振興と発展のため、展示・体験学習などの活動を続け情報発信を行ってきましたが、開館 15 周年の節目にあたって設立当初の目的を再認識し当館を効果的に運営していくために本年度、記念事業を計画しました。

そのひとつとして、蚕糸・絹業にかかる情報発信の拠点施設である当館の情報発信力をさらに高めるよう、特別展「絹とアジアの民俗衣裳―蚕からの贈り物」（4月27日～6月3日）を開催し、民族衣裳等を通して絹の素晴らしさを紹介しました。また、当館の運営に必要な情報交換等を進めるため、横浜市のシルク博物館と姉妹提携を結

びました（本年 4 月 27 日付）。これにより相互の情報交換等ができ、日本絹の里の情報発信力を高められることが期待できます。なお、4 月 29 日には開館 15 周年感謝祭を開催し、記念式典やアトラクション等を行いました。アトラクションでは尺八奏者の昌平氏のポップス尺八の演奏と、地元の山口きもの学院の山口先生のご協力により大勢の皆様にご出演をいただいた、きもの歳時記日本の四季をテーマにしたきものショーでは、多くの観覧者から盛大な拍手をいただきました。また、地域の皆様に感謝の意を込めて綿菓子、豚汁、コンニャクのおでんの配布や農産物等の販売、シルク製品の割引販売を行いましたところ、大勢の皆様にご来館いただくことができました。

さらに、世界遺産関連の特別展として「世界につながる日本のシルクロード―群馬のシルクと横浜港」（11 月 9 日～12 月 9 日）を横浜のシルク博物館との共催により開催

し、横浜での生糸貿易と関連させながら世界遺産候補の富岡製糸場と絹産業遺産群について紹介する予定です。

蚕糸絹業の拠点として今後も純国産絹製品等を PR

開館 15 周年を迎えた日本絹の里の入館者数の累計は 46 万人を越えています。来館された多くの皆様に情報を提供してきました。これからも蚕糸絹業の情報発信の拠点としての役割を担って、さまざまな情報発信を行っていきますが、今後は、世界遺産登録を目指す富岡製糸場と絹産業遺産群にかかる理解を深めるための情報を積極的

に発信していくことも必要なことと思われます。当館では、現在も常設展示場や特別展等において、富岡製糸場と絹産業遺産群の情報提供を行っていますが、日本絹の里ならではの情報発信が求められているものと思われます。そして、当館では(財)大日本蚕糸会の蚕糸・絹業提携支援センターと共同で平成 21 年より蚕糸・絹業提携システム PR コーナーを常設展示場に設置し、純国産絹製品の PR を行っていますが、これらの情報発信について今後も、より多くの情報を積極的に発信できるよう努力していくこととしております。



写真 4 蚕糸・絹業提携システム PR コーナー



写真 5 純国産絹製品 PR コーナー

平成 25 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの平成 25 年度第 2 次審査会を平成 25 年 7 月 22 日 (月) に開催しました。今回、16 者 (うち、新規使用許諾申請が 2 者で新規製品が 3 品目、使用許諾されている者の製品の追加 3 品目、履歴・数量の追加 4 品目、生産数量の追加が 11 品目、履歴の変更が 1 品目、計 22 品目) から申請があり、審査委員会で審査した結果、16 者に対し、7 月 29 日 (月) 付けで純国産 絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規許諾者) 株式会社百花 代表者名：郡史朗 (担当者：平野俊輔) 神奈川県横浜市中区海岸通 4-23 マリンビル 503 Tel：045-681-0500 表示者登録番号：181	後染反物 (小紋 (変一越))	20 反	制作企画 田中種 (株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 南久ちりめん (株) 染 色 高田勝 (株)
(新規許諾者) 京呉服好一株式会社 代表者名：平田好一 京都市北区小山元町 37-1 (担当者：平田好一) 岡山県岡山市北区辰巳 2-106 トーナン北ビル Tel：086-242-1529 表示者登録番号：182	後染反物 (小紋 (変一越))	5 反	制作企画 田中種 (株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 南久ちりめん (株) 染 色 高田勝 (株)
	後染反物 (小紋 (紋意匠))	5 反	制作企画 田中種 (株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 芝井 (株) 染 色 高田勝 (株)
(製品・数量の追加) 西陣織工業組合 代表者名：渡邊隆夫 (担当者：大槻ゆづる) 京都市上京区西堀川通元誓願寺上る 竪門前町 414 Tel：075-432-6131 表示者登録番号：088	(製品の追加) セーター (ニット)	80 枚	繭生産 福島県川俣町・群馬県安中市養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 紬 糸 (有) 関根商店 染 色 (有) 西山染工場 製 編 自組合 (西陣織会館)
	(製品の追加) カーディガン (ニット)	20 枚	
	(製品の追加) ショール	20 枚	
	(数量の追加) マフラー	780 枚	
(履歴・数量の追加) 株式会社 さが美 代表者名：平松達夫 (担当者：青木祐介) 神奈川県横浜市中区港南区下永谷 6 丁目 2 番地 11 号 Tel：045-820-6000 表示者登録番号：031	後染反物 (黒紋付、変三越) (秋/冬用)	100 反	繭生産 JA みやぎ仙南管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (有) 両輪産業 染 色 (株) 橘一
	後染反物 (黒紋付、五越 駒紬) (夏用)	153 反	繭生産 JA みやぎ仙南管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 小熊機業 (有) 染 色 (株) 橘一

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴・数量の追加) 福続織物株式会社 代表者名：丸本繁規 (担当者：丸本徹) 福岡県福岡市西区泉1丁目18番4号 TEL：092-806-1223 表示者登録番号：162	先染帯地（男帯）	190本	制作企画 筑前織物（株） 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 甘楽富岡管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 染 織 自社
(履歴・数量の追加) 株式会社丸万中尾 代表者名：中尾浩祥 (担当者：中尾浩祥) 滋賀県長浜市室町180 TEL：0749-62-1660 表示者登録番号：028	後染反物（小紋・ 付下・色無地）	120反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 織元こばやし 染 色 (株) 貴久樹
(数量の追加) 田中種株式会社 代表者名：田中隆 (担当者：田中隆) 大阪府大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル3階 TEL：06-6261-2091 表示者登録番号：060	靴下（ニット）	400足	蚕品種 春嶺×鐘月 繭生産 JA にったみどり・JA 碓氷安中 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 撚糸・精練 昭和撚糸工業（株） 製編・縫製 タビオ（株）
(数量の追加) 株式会社高島屋 代表者名：鈴木弘治 (担当者：霧生小牧) 東京都中央区日本橋2-4-1 TEL：03-3211-4111 表示者登録番号：030	靴下（ニット）	400足	制作企画 田中種（株） 蚕品種 春嶺×鐘月 繭生産 JA にったみどり・JA 碓氷安中 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 撚糸・精練 昭和撚糸工業（株） 製編・縫製 タビオ（株）
(数量の追加) 有限会社大善屋呉服店 代表者名：畑恒夫 (担当者：畑恒夫) 福島県会津若松市大町1-1-53 TEL：0242-27-0404 表示者登録番号：018	白生地（表地）	10反	制作企画 (株) 丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) 匠
(数量の追加) 丸善本店 代表者名：櫛田幸造 (担当者：櫛田幸造) 福島県いわき市内郷高坂町1-59-8 TEL：0246-26-2968 表示者登録番号：019	白生地（表地）	10反	制作企画 (株) 丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) 匠
(数量の追加) 株式会社四季のきものおおにし 代表者名：大西嘉夫 (担当者：大西嘉夫) 東京都杉並区高井戸1-8-3 TEL：03-3329-9374 表示者登録番号：036	白生地（表地）	10反	制作企画 (株) 丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) 匠

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) 株式会社 つるや 代表者名：金子憲二 (担当者：金子憲二) 埼玉県川越市脇田町 11-2 Tel：049-225-1331 表示者登録番号：039	白生地（表地）	10反	制作企画 (株)丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株)匠
(数量の追加) 合資会社車屋呉服店 代表者名：吉原清次郎 (担当者：吉原清次郎) 神奈川県横浜市南区大岡 2-21-13 Tel：045-731-6108 表示者登録番号：119	白生地（表地）	10反	制作企画 (株)丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株)匠
(数量の追加) 株式会社小倉商店 代表者名 小倉敏行 (担当者：小倉進吾) 茨城県結城市大字結城 116 番地 Tel：0296-32-2121 表示者登録番号：041	先染帯地 (結城紬)	30本	蚕品種 朝・日×東・海 繭生産 JA 伊達みらい管内養蚕農家 真綿生産 (有) 関根商店 手紬糸生産 自社 染 織 自社
(数量の追加) 株式会社伊と幸 代表者名：伊藤公一 (担当者：北川幸) 京都市中京区御池通室町東入ル竜池町 448 番地の 2 Tel：075-211-2361 表示者登録番号：035	白生地（表地）	50反	蚕品種 松岡姫・上州絹星 繭生産 JA みちのく安達・JA 前橋市管内 養蚕農家 製 糸 松岡 (株)、碓氷製糸農協 製 織 羽賀織物
	白生地（表地）	50反	蚕品種 松岡姫・上州絹星 繭生産 JA みちのく安達・JA 前橋市管内 養蚕農家 製 糸 松岡 (株)、碓氷製糸農協 製 織 白数織物 (有)
(履歴の変更) 株式会社千總 代表者名：仲田保司 (担当者：俵武司) 京都市中京区三条通烏丸西入る Tel：075-211-2531 表示者登録番号：001	振袖（紋綸子） (23 年 4 次)	△ 90 枚	繭生産 岩手県内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 (株) 松浦絹織 染 色 自社
	振袖（紋綸子）	90 枚	

(連絡先)

〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
担当：武居、宮下
TEL: 03-3214-1691、FAX: 03-3214-1700
E-mail : 武居 : jsa-takei@chic.ocn.ne.jp
宮下 : jsa-miyashita@rhythm.ocn.ne.jp

年月日	活 動 内 容 等
25.7.2	第1回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール審査会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
25.7.22	純国産絹マーク審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
25.7.23	第1回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール表彰式 (東京都有楽町 蚕糸会館)
25.7.30	蚕種用資材供給打合せ会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
25.8.20 ~ 25.8.25	純国産宝絹展 (札幌三越)



ジャパンシルクセンターのPRコーナー
(りょうぜん天蚕の会の天蚕ハイブリッドショールを展示)

第1回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール 農林水産大臣賞受賞者は、山梨県芦澤定弘氏に決定

財団法人 大日本蚕糸会



主催者挨拶する高木会頭

財団法人大日本蚕糸会と中央蚕糸協会共催による「第1回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール」は、全国から38点の応募があり、去る7月2日、同コンクールの審査会（審査長：黄色俊一東京農工大学名誉教授）が開かれ、農林水産大臣賞には、「芦澤定弘氏（山梨県）」、農林水産省生産局長賞に「新ふくしま農協養蚕専門部会（福島県）」が選賞されました。また、財団法人大日本蚕糸会会頭賞には「邦楽器糸用特殊生糸を守る会（提携グループ：滋賀県）」、「糸井文雄氏・糸井清子氏ご夫妻（群馬県）」の2点が受賞されました。

7月23日、東京都千代田区有楽町・蚕糸会館で受賞者等関係者が列席し表彰式が

行われました。

選賞の経緯

本コンクールの審査の経緯は、下記のとおりです。

本コンクール出品数は総数38件で、提携グループから9件、農家団体から5件、個々の養蚕農家から24件でした。一次選考では、審査資料が揃っているか否か、基準に達しているか否かなどの調査を行い、提携グループ3件、養蚕農家3件、農家団体3件を選考しました。

二次選考では、細部審査個票をもとに個々の出品財の内容について慎重に審査が行われました。農林水産大臣賞・芦澤定弘



農林水産省 佐藤生産局長のご挨拶



農林水産大臣賞を受賞した喜びの芦澤さん（山梨県）

氏の受賞は、主として次のような理由で決定しました。

- ①平成24年の繭生産は約2 tであるが、かつては6 t近い繭を生産した先進大型養蚕農家であり、機械化養蚕を進めてきた。現在は提携グループの「ふじやまシルクプロジェクト」に参加しており、普通蚕品種とともに、高度な養蚕技術が必要な極細繭糸織度の特殊蚕品種である「白麗」を飼育してグループの期待に応えているが、今後も高度な技術が発揮出来る「量から質への転換」を指向している。
- ②桑園では桑の仕立てや雑草防除を始めとする維持管理に独自の工夫をし、違作を起こさない育蚕の作業体系も確立されている。特に上簇環境には気を遣い、解じょ率の向上には経費をかけて尽力している。
- ③氏は高度な養蚕技術を持つが故に稚蚕飼育を委託され、山梨県の養蚕振興のために尽力するとともに、地域の養鶏農家か

ら生鶏糞を受け入れて補完関係を保つなど、県内の養蚕経営のリーダー的存在である。さらに外国（フィリピン）の養蚕研修生の受け入れと、フィリピンへ出向いての技術指導も行っており、幅広い貢献活動が評価される。

- ④複合部門については、冬期の設備活用、労働力の配分を考慮した「干し柿の生産・販売」が功を奏し、グループによる共販のほか、独自に長期の販売ルートを開拓したことによって、安定した農業経営が可能となった。後継者（次男、26歳）の養成も含めて、氏の将来を見据えた見識ある活動がある。

以上が、今回の選賞の経緯です。

なお、農林水産大臣賞の芦澤定弘氏は、本年度農林水産祭参加出品財となり、今後、中央審査の対象出品財となります。受賞者の皆様のご活躍をお祈りいたします。



農林水産省生産局長賞を受賞する新ふくしま農協養蚕部会



提携グループで唯一表彰された邦楽器糸用特殊生糸を守る会



大日本蚕糸会会頭賞を受賞する群馬の糸井さん

伊勢神宮に純国産生糸を毎年献納

蚕糸・絹業提携支援センター

羽田 有輝

愛知県豊田市の稲武町は、明治 14 年以來、連綿と伊勢神宮に神御衣御料糸^{かんみそ}献納行事を続け、今年で 132 年目を迎えています。さらに大正天皇と今上天皇の大嘗祭には、この町から神衣とされる繒服（「にぎたえ」と読み、和妙又は和栲とも書き絹の古名である。）と呼ばれる国産絹織物を調進した栄に浴した歴史をもつ町です。

具体的には、一般財団法人古橋会の援助のもとに稲武献糸会が当地で製造した純国産生糸を神御衣御料糸（神様が着られる衣の原料絹糸）として、毎年 11 月に伊勢神宮へ奉納しています。このように、綿々として百三十余年間にわたって先人の遺業である養蚕・製糸技術を伝承している歴史的祭事の中で、純国産生糸・絹織物が厳然と存在しているのは、貴重なことであり本誌でご紹介します。

豊田市稲武町の概況

この町は、かつては愛知県の北設楽郡に属していましたが、昭和 15 年に稲橋村と武節村が合併して成立し、この 2 村から一字ずつ取ったのが町名の由来とのこと。地理的には県の北東端、矢作川の上流に在り、

長野県と岐阜県との県境に位置し、古くから奥三河と呼ばれ、標高 500 m を超える山あいの町で、名古屋から約 70km、車で 2 時間程の距離にあり、名古屋と飯田を結ぶ飯田街道沿いにあります。平成 17 年には、周辺 5 町村とともに豊田市に編入され、現在、人口は約 3 千人弱となっています。

稲武地域の養蚕の歴史

この地方は、明治の初めこの土地の豪農であった古橋暉兒氏（古橋家六代目当主）が当時の 12 ケ村（現稲武地域）の各戸へ桑苗を 25 株ずつ配って植付けを奨励し産業振興の一環として養蚕業の礎を築いて以来、気候風土が適していることもあって昭和 40 年代の初頭まで養蚕が盛んに行われ、



写真 1 稲武町風景 中央の建物が古橋懐古館

最盛期には 500 戸を超える養蚕農家があり、農家にとって貴重な現金収入となっていました。これは三河地方には岡崎市の三龍社や豊橋市の石川組等の有力製糸企業が数多くあり、これらの製糸工場への原料繭を供給する後背地として稲武地域の養蚕業が栄えることになりました。その後は高度経済成長につれ、人口が都市部に流出したことや近隣の製糸工場が撤退したこともあって、この地方の養蚕業は衰退し、大嘗祭の行われた平成 2 年には数軒の養蚕農家を残すのみとなりました。そのため、栄えある繭服を調進し、毎年伊勢神宮献糸を行うためのかけがえのない蚕業技術を長く伝承することや稲武地域の養蚕業の復興を願う目的をもって有志数名で任意団体「まゆっこクラブ」を平成 9 年に設立し、毎年、春蚕を飼育し、純国産生糸を繰糸し、稲武献糸会へ神御衣御料糸の提供等の事業を行って現在に至っています。

稲武献糸会

この会は、伊勢神宮献糸行事を行う目的



写真 2 まゆっこクラブ会員

で明治 14 年創設され、稲武地区 13 の自治区長を委員とし、当初は養蚕家、製糸家及びその他の有志で組織されましたが、現在では実質的に「まゆっこクラブ」もこの会員として活動しています。

「まゆっこクラブ」の積極的な活動

現在、代表者は金田平重氏（元養蚕指導員・商工会事務局長）とし、会員は地元の主婦を中心とした 9 名です。稲武町古橋懐古館の隣接地にある「まゆっこセンター」を活動拠点として一般財団法人古橋会の全面的な援助・協力の下に、桑の育成から蚕の飼育（毎年、春季に上田蚕種（株）より蚕種（春嶺×鐘月）を購入）、繭づくりに至るまで養蚕一貫体制を確立し、座繰機による生糸の繰糸、糸繰り並びに繭・生糸手工芸品づくりの会員教習を行う一方、小・中学生や一般市民に対しても各種シルク体験教室を開催して、シルクの魅力や素晴らしさ、これを作る楽しさの理解を深めるなど積極的な PR に取り組んでいます。都心部との交流にも、豊田市の「ものづくりな



写真 3 まゆっこクラブが作る繭クラフトの数々



写真4 まゆっこクラブ会員が
シルクショール生地を製織

ぜなプロジェクト」や名古屋祭りなどの各地のイベントに参加しています。さらに、シルク普及活動の一環として、毎月第一日曜日には、いなぶ道の駅のお祭り広場で「繭の糸取り」、「機織り」、「繭・生糸手工芸品（繭花飾りや手染織のシルクマフラーなど）づくり」の実演イベントを好評裡に開催しています。なお、これらの実績が豊田市から認められて同クラブは、一昨年には豊田州市制60周年記念表彰を受けています。

伊勢神宮への神御衣御料糸

献納年間スケジュール

毎年5月：蚕の掃立、給桑

6月：上簇、収繭、繭の熱風乾燥

10月1日：出来上がった繭を地元の八幡神社でお祓いを受ける式典の開催（一般財団法人古橋会理事長、稲武地区自治区長及びまゆっこクラブ会員等関係者が参列）

11月上旬：八幡神社での原料繭お祓い式典終了後、本格的に座繰り繰糸、糸繰

り。この後、完成した純国産生糸9繰（かせ）を桐の箱に入れて稲武町献糸会事務局へ移管して保管。

11月上旬：稲武献糸会として神御衣御料糸を伊勢神宮に献納（本年度は11月5日を予定）

なお、この伊勢神宮に奉納された純国産生糸は、その後、絹織物として製織され、翌年に同神宮の内宮で行われる神御衣祭（かんみそさい）で神前に供えられるということです。伊勢神宮百科事典によれば、神御衣祭とは、毎年5月14日と10月14日に内宮に繒服（絹織物）と荒妙（「あらたえ」と読み麻織物のこと）の2種の神御衣（神様が着られる衣）を奉る祭りとのことで、5月には夏の御料を10月には冬の御料を奉るため、一般には「神様の衣替え」ととらえられています。新たな衣をお供えすることが、神様の御力を更新するという、遷宮に通じるような意味をもつのではないかとされています。



写真5 今年の育蚕：左から古橋会理事長、指導者の金田ご夫婦



写真6 今年の製糸：豊橋の石川組製糸にいた
金田ちゑのさんが座繰り繰糸

このような経緯から、先の稲武町の国産生糸の奉納は、神御衣御料糸献納と呼ばれています。

今後の展開

前出の一般財団法人古橋会とは、昭和20年、当時の古橋家8代目当主の古橋道紀氏の遺言により山林一千余町歩とそれま

で3代にわたり収集してきた明治維新の志士、国学者、儒学者を始めとする先覚者の遺墨とを併せ寄付し、創設されたものであり、先哲の顕彰、古橋懐古館の運営の他、各種公益事業を推進しています。特に農林業の奨励の一環として稲武献糸会への協賛・支援を継続・実施してきました。現在の理事長は、古橋家9代目当主である古橋源六郎氏（元大蔵省農林担当主計官、総務事務次官、林政審議会会長）であり、同氏は、「大嘗祭の際の繒服の調進の栄えある歴史を有する稲武町が毎年伊勢神宮へ献糸していることは、同地で桑を植え、蚕を育て、糸を繰ることであり、さらに繭や生糸を使った工芸作品を生みだしていることは、「蚕の里」としての顔をもつ稲武を活性化するため、かけがえのない技術と伝統の知恵が息づいていることである。」と語り、今後については、桑葉の活用などの絹の多用途開発及び後継者対策等に取り組み、かつ他地域のシルク工芸グループ等との提携・交流を深めることを目指しています。

多くの参加者を得て札幌三越「純国産宝絹（takaraginu）展」を開催

蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

札幌三越「展示会」概要

8月20日（火）～25日（日）に札幌三越において「純国産宝絹（takaraginu）展」を開催いたしました。今回は北海道大学、北海道開拓の村の協力を得て、北海道大学には会期中展示する蚕の提供とお世話、北海道開拓の村には真綿づくり、繭クラフト等のワークショップの一部を担っていただきました。

地元参加型で和やかな雰囲気の中、多くの消費者の皆様「純国産宝絹（takaraginu）展」をご紹介でき盛り上がりしました。特に展示する蚕において、北海道大学が保存する蚕品種「日124号×支124号」の蚕1、3、5各令の蚕に加え、日本古来の蚕品種「小石丸」を（財）大日本蚕糸会蚕業技術研究所より蚕種を北海道大学に送り、北海道大学農学部で孵化、飼育を行っていただき、3令と4令の蚕を展示しました。「小石丸」は北海道では珍しく消費者や顧客などの方々に好評でした。ワークショップは、相変わらず人気があり、スケジュール通りに展開するのが大変でしたが、北海道大学の学生の皆様、蚕糸科学研究所他の皆様と協力して無事にこなすことができました。

1 展示会開催と媒体の活用

今回の展示会では、宣伝媒体として、地



札幌三越

元紙の北海道新聞への広告（20日朝刊全5段）掲載や各種ポスター（B2版、B3版）、見開き展示会案内リーフレットの作成配布、DMはがきの発送等を行いました。

2 展示の内容

PR映像【純国産「宝絹」奇跡の糸ができるまで】

今回はテレビCM等でおなじみの窪田等氏にナレーターをお願いし、一般消費者にも解りやすい映像を作成しました。映像は以下の順序で構成されています。

- （1）絹のイメージ
- （2）国産絹の歴史
- （3）富岡製糸工場
- （4）純国産絹は消滅の危機
- （5）純国産ができるまで

蚕—繭—繰糸（真綿紡ぎ、自動繰

糸機) —染織—織

(6) 蚕糸・絹業提携システムについて

(7) エンディング

(8) 純国産絹マークについて

窪田さんは、ストーリー、内容をすべて把握され、また、収録に立ち会った関係者の意見を取り入れていただき、充実したPR映像ができました。会場では熱心に視聴される消費者の皆さまが目立ちました。

3 展示品の紹介

・貴重な蚕と多様な繭の展示

蚕は北海道大学農学部応用分子昆虫学研究室で飼育された「小石丸」と「日 124 × 支 124」を展示。繭は多様な繭を「世界に誇る日本の繭」テーマに展示。色繭（青熟他）、玉繭（玉小石）ジャンボ繭（又昔 200 頭）、日本古来の品種（小石丸）、遺伝子組換え蚕（光る繭・生糸等）を展示し、北海道開拓の村の協力により北海道の養蚕の歴史をパネル紹介しました。

・提携グループ製品の展示紹介

純国産 PR の製品として、各提携グループから純国産絹製品の展示をお願い最後に記載しました表のとおり提携グループの皆



北海道開拓の村・北誠館蚕種製造所

様より出品をいただきました。その一部として、世界遺産に推薦されている富岡製糸場の「富岡シルクブランド協議会」やニューヨーク近代美術館のミュージアム販売商品として採用された「甲斐絹グループ」をコーナー展開しました。



富岡シルクブランド協議会出品シルク製品の数々



北海道大学旧昆虫及び養蚕学教室全景

4 ワークショップの展開

銀座三越で好評であった実演型と参加型のワークショップを展開。

・実演型ワークショップ

テーマ「純国産宝絹を支える手仕事の世界」

真綿つむぎ（外山 友子 結城）

座繰り（林 久美子 岡谷）

染織（新田 克比古 米沢）

地機（小柳 阿佐子 結城）

組みひも（林 茂樹 東京）

技量のある職人により実演を行い手仕事の良さと日本文化の素晴らしさを紹介しました。



紅花染の実演

・参加型ワークショップ

「繭・絹を使った手づくり体験」と題してシルク組紐ブレスレット制作、シルクハンカチ紅花染め、繭クラフト、一粒繰りを実施し子供から大人まで幅広く繭や絹に触れる機会をつくり、絹の良さ楽しさをPRしました。

一粒繰り（蚕糸科学研究所）

ハンカチ染め（新田 克比古 米沢）

繭クラフト（北海道開拓の村）

シルクブレスレット（福田 隆 東京）

・純国産絹講演

今回の展示会では、協力いただいた北海道開拓の村・学芸員細川健裕氏から「北海道と養蚕の歴史」の講演をしていただきました。



参加型ワークショップ（繭クラフト）

また、後援団体でもある財団法人大日本蚕糸会安藤常務理事と清水所長からは、「繭と生糸の話」を北海道の消費者の皆様へわかりやすくしていただきました。

24日（土）と25日（日）の二日に分けての講演でしたが、わかりやすい説明で純国産絹の文化的価値と品質の良さをPRしていただきました。

積極的な広報活動

前述の宣伝媒体でふれたとおり、今回は、地元新聞の北海道新聞への掲載を行いました。初日の朝刊に全五段を使用しました。非常にカラフルな広告で目立ち、効果は上々でした。又、店内に別制作のポスターを掲載し会場への動員を行いました。ハガキを初めて使用しましたが、店内告知、顧客へDMとして使用しご来場が多数ありました。カタログは、前にシルクレポートでご紹介しましたが、カバーリーフレットで今回の札幌宝絹展を紹介し、中のカタログは純国産絹と協議会の紹介とし今後の展示会にも使用できるようにしました。内容、色彩ともよくできたと思っています。

おわりに

札幌での開催は遠隔地であり準備段階での人の移動、手配でかなりの労力を使いま



純国産宝絹 takaraginu 展リーフレット

した。又、6日間の長丁場でもありましたが展示会場運営・進行に北海道大学、北海道開拓の村、大日本蚕糸会蚕糸科学研究所、提携支援センターの皆様の協力を得て成功裏の内に終えることができました。いつも展示会への出品にご協力いただいている、提携グループの皆様、繭等の資料をご提供をいただいている蚕業技術研究所、農業生物資源研究所、並びにワークショップに協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

札幌三越純国産宝絹展出品者表

会社（団体）名	出品製品	製品の特徴
(株)千總友仙工場	振 袖	東北地方に限定した繭を使用した高級純国産絹
(株)マルシバ	打 掛、着尺	白繭細一号という特徴ある繭を使用した絹製品
(株)龍工房	帯メ	白繭細一号、遺伝子組換え蚕の「光る繭・生糸」を使用した組紐製品
富岡シルクブランド協議会	ネクタイ、ソープ、シルクフィル	富岡市で生産された群馬県のオリジナル蚕品種「ぐんま 200」の繭を使用した製品
丸三ハシモト(株)	琴糸、三味線糸、ミニチュア琴	岐阜県産春繭を使用した製品
甲斐絹グループ	ストール	山梨県産繭を使用。ニューヨーク州立近代美術館のショップで販売されている製品
(株)高原者	蚕飼育セット	児童等の学習用キット
日本蚕糸・絹業開発協同組合	産着	群馬県オリジナル蚕品種「ぐんま 200」の繭を使用した製品
大門屋	玉小石牛首紬	玉繭品種「玉小石」の座繰り糸を使用した紬製品
(株)小倉商店	結城紬	蚕業技術研究所育成蚕品種「朝日×東海」を福島県伊達市で入金真綿に調整
(株)伊と幸	色無地	福島県 JA みちのく 安達の養蚕農家が飼育した蚕品種「松岡姫」を使用した製品
織匠 万勝	着尺、袋帯、名古屋帯	群馬県の繭を使用し、高級帯製品
西陣織工業組合	シルクマフラー	群馬県及び福島県繭を使用し、自らの組合で織りあげた製品
東京シルクの会	小紋着尺	特殊な蚕品種「青熟」種を使用し、工芸作家制作の製品
富士新幸(株)	真綿布団	山梨県産繭を使用し、福島県で真綿に加工、自社で製品化
(株)あきやま	貝紫染めショール	日本古来種「小石丸」繭を使用し、特徴ある染を行った製品
りょうぜん天蚕の会	天蚕ハイブリット系ショール	天蚕の糸と生糸を組み合わせ特徴ある洋装品
宮坂製糸シルク工房の会	銀河シルク八寸名古屋夏帯	太織度加工した「銀河シルク」を使用し、従来にない特徴ある帯を制作
(株)平田組紐	帯メ	群馬県オリジナル品種「ぐんま 200」の生糸を使用した組紐製品

シルク遺産を訪ねて⑪

八王子市郷土資料館

東京産業考古学会

副会長 平井 東 幸

人口 56 万人の八王子市は文教学園都市として著名であるが、その市立郷土資料館は、J R 八王子駅から徒歩で 15 分、市街地の中にある。鉄筋コンクリート 2 階建てで昭和 42 年、市内で出土した考古資料と歴史資料を中心とした実質、博物館としてオープンした。開館 46 年目の同館では常設展示を主体に定期的にさまざまな特別展を企画、開催している。

シルク関係では 1 階の中央に織機関係の常設展示が大きなスペースを占めており、とくに機織りの体験コーナーもある。2 階

は「こどもれきし展示室」として主として学童の教育用ではあるが、ここにも養蚕・織物関係が常設展示されている。

近年、シルク関係の常設展示を行っている博物館・資料館は少なくなった。八王子は江戸時代から立地条件（山間に位置している、江戸という大消費地に近い、先進地の桐生・足利からの技術導入）から、養蚕、製糸、織物の産地であっただけでなく、集散地として取引・物流の一大拠点であったことが、これらの常設展示の背景にあるだろう。



写真 1 八王子市郷土資料館の正面

1 階と 2 階に分散展示されているシルクの関係の資料はおよそ 60 点、その内訳は、①織機 4 台・・・明治から昭和 30 年代まで使用した高機、ボタン、地機、②糸巻き、杼や箴などの用具類が 12 点、③着尺、ネクタイ等の製品類が 13 点、④見本帳、機帳（機織りのマニュアル本）等の文書類が 14 点、⑤ 2 階には養蚕関係の用具・・・かいこ盆、桑の枝切り用の鎌、桑摘み用のつめ、種紙、えびら等が 15 点、このほかに展示パネルが十数点ある。これらのシルク関連資料は、その多くが、篤志家の文書および民俗資料として寄贈収集されたものであり、必ずしも養蚕・製糸・織布と系統的に収集されたものではない由である。なお、同館ではカラー印刷の解説シートが充実している。繊維関係では「八王子織物の歴史」と「塩野適斎と『桑都日記』」がある。

同館のシルク関係の収蔵資料は 500 ～ 600 点にのぼる模様。これらは昭和 30 年代までは地域の経済社会を支えた産業であるだけに、その目録作成と市文化財に是非指定いただき、その保存に一層努めていただきたいと思います。

また、同館の書籍閲覧コーナーは充実し



写真 2 1 階の展示コーナー



写真 3 2 階の展示コーナー

ている。シルクを含めた繊維関係の特別展の図録、各種調査報告書等が多数収蔵されており、一般の閲覧に供されていることも有難い。

同館では、平成 26 年 2 月 4 日（火）～ 3 月 23 日（日）に特別展「八王子の産業ことはじめ」を開催する。明治時代を中心に織物や製糸を中心に八王子の産業を紹介する企画であり、ご関心ある向きは、お出掛けいただければと思います。

終わりに、資料提供等ご高配をいただいた学芸員の中村明美氏に感謝致します。

（写真は、いずれも同資料館の提供による）

■八王子市郷土資料館

休館日：月曜日・祝日の翌日（金・土・日・月が祝日の場合は直後の火曜日）、年末年始等

開館時間：午前 9 時～午後 5 時

所在地：東京都八王子市上野町 33

Tel：042-622-8939

アクセス：JR 中央線「八王子駅」下車
南口から徒歩 15 分

入館料：無料

イベント情報

(財)大日本蚕糸会・ジャパンシルクセンターからのお知らせ

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
純国産絹製品の紹介 (風呂敷)	出展者は京都の宮井株式会社で風呂敷の老舗。岩手県産の繭を山形県の松岡株式会社で生糸にしました。それを丹後の鬼しぼちりめんにし、本藍絞り染した風呂敷です。	・会期 平成 25 年 9 月 17 日(火)～10 月 11 日(金) ・開催時間 10:00～18:00	主催:ジャパンシルク センター 会場:ジャパンシルク センター(純国産絹 製品コーナー) 東京 有楽町 蚕糸 会館 1F TEL03-3215-1212
純国産絹製品の紹介 (振袖、訪問着)	出展者は京都の株式会社千總で京友禅の老舗染漬問屋。特定した繭生産農家(主に東北地方)と提携して、飼育管理と消毒・選繭の徹底を図ることにより、優良繭を生産している。これらの優良繭を松岡株式会社で丁寧に生糸にしています。これを光沢のあるシワになりにくい白生地製織し、伝統のある千總の染色技法で振袖、訪問着に仕上げました。	・会期 平成 25 年 9 月 17 日(火)～10 月 11 日(金) ・開催時間 10:00～18:00	主催:ジャパンシルク センター 会場:ジャパンシルク センター(純国産絹 製品コーナー) 東京 有楽町 蚕糸 会館 1F TEL03-3215-1212
2013伝統工芸 ふれあい広場・わかやま	大日本蚕糸会・ジャパンシルクセンターは、伝統工芸ふれあい広場に参加し、生糸ができるまでのパネル展示、繭玉の展示と座繰りの実演を行います。	・会期 平成 25 年 11 月 2 日(土)～11 月 4 日(月) ・開催時間 10:00～17:00 最終日は 16:00 まで	主催:一般財団法人 伝統的工芸品産業 振興協会 会場:旧海南市立 第一中学校(和歌山県 海南市船尾 257) 入場料:無料

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
日本絹の里第27回 企画展 「人形師 辻村寿三郎の世界」	着物の古布を使って人形を創作する辻村寿三郎氏の作品を展示し、絹の素晴らしさを紹介します。	・会期 平成25年9月4日 (水)～11月4日(月) 休館日:火曜日 入館料 一般400円 高・大学生250円 中学生以下無料 *団体割引有り	・主催:群馬県立日本絹の里 ・会場 日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 TEL027-360-6300
「伝統産業と現代の融合」～進化する信州の織物～	長い歴史をもつ信州の紬織物・私たちは、この技術の伝承者であることを誇りに思いつつ、伝統産業と現代の融合について模索しています。 長野県織物工業組合、ハンドシルク研究会各会員はこの命題を考え、川上玲子先生の指導の下で、新しい作品作りに邁進しております。 今回、これらの意欲ある作品を展示しますので是非ご覧ください。 9月21日(土)午後2時半より会場にて作品説明と伝統産業の明日を考えるトーク会を行います。	・会期 平成25年9月19日 (木)～9月23日(月) 入場料:無料	・主催:長野県織物工業組合、ハンドシルク研究会、長野県中小企業団体中央会 ・会場 松本市美術館 〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22 ・問合せ先 ナガノハンドシルク研究会事務局、(有)シンセイ 絹工房 TEL & fax0263-86-6700
シルク・サミット2013 in久米島 (シルクが元気・ 地域が元気)	「シルクサミット」は、各地域において養蚕・製糸・染織等の生産者や博物館・資料館・絹工房等の関係者が一堂に会して、意見交換や情報・技術交流を目的として、毎年秋に開催しています。本年は、沖縄県の久米島にて開催します。 ・日程 第1日目13:00開会(聴講:無料) ◇ 基調講演「久米島紬の歴史」 ◇ 特別講演「復帰後の八重山の養蚕」、「遺伝子組み換え蚕とその産業利用」、「琉球紅型のいろとかたち」 ◇ 活動事例報告 17:40閉会 18:00～懇親会(会費3,000円) 第2日目 見学会 参加費2,000円	・開催期間 平成25年10月10日 (木)～11日(金)	・主催:(独)農業生物資源研究所、(財)大日本蚕糸会、久米島町、市立岡谷博物館 ・後援:沖縄タイムス、琉球新報 ・会場 久米島町具志川農村環境改善センター 〒901-3124 沖縄県島尻郡久米島町 字仲泊730 TEL098-985-2444 fax098-985-2444

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
第64回丹後織物求評会・総合展示商談会	丹後織物の品質及び技術の向上を図り、新しいものづくり等に取り組むことで販路の拡大・開拓を進め、組合員の経営安定、発展を図るものとする。また、「丹後ちりめん」ブランドを広く業界内及び一般消費者にPRし、需要の拡大を図ります。	・展示商談会 平成25年10月10日(木)～11日(金)	・主催:丹後織物工業組合 ・後援:経済産業省、京都府、京都織物卸商業組合 ・会場 京都産業会館5階コスモホール 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町80
第6回 現代手織物クラフト公募展	全国で独自の創作活動をしている織物のプロおよび将来のプロをを目指す方たちが創作した独創的で優れた織物作品を展覧し、広く織物愛好家に向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目指します。	・会期 平成25年10月10日(木)～11月15日(金) 休館日:水曜日 観覧料 一般(高校生以上)500円 小中学生100円 *団体等割引有り 開館時間 9:00～17:00 *入場は16:30まで	・主催:現代手織物クラフト公募展実行委員会 ・共催:駒ヶ根シルクミュージアム、織の財団 ・会場 駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那482 Tel0265-82-8381 fax0265-82-8380
蚕糸・絹文化の再生と展望	第9回東京シルク展として、シンポジウムを開催し、一般来場者とともに絹文化の現状と未来についてディスカッションを行います。基調講演として米国メトロポリタン美術館名誉会員の梶谷宣子氏より問題提起をし、各分野からそれぞれ具体策を討論します。より多くの方のご来場をお待ちしています。 ○パネラー: 井上元氏、小谷田昌弘氏、長田誠一氏、森博氏、森久保雅子氏、矢村璋子氏、内海康治氏 座長 中島洋一氏	・開催日時 平成25年10月26日(土)、12:45～16:30 入場料:無料	・主催:東京シルクの会 ・共催:多摩シルクライフ21研究会 ・会場 東京農工大学科学博物館 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 ・問合せ先 内海呉服店きもの千歳屋 Tel03-3482-0039

現在、活動している提携グループの内容一覧

1. グループ167

(代表者)

有限会社織道楽塩野屋

代表取締役 服部芳和

京都府京都市上京区千本通一条通下ル西側

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：京都府（福知山市他）(250kg)、農家数4戸

製糸：(株)宮坂製糸所

製織：(有)織道楽塩野屋

撚糸：(有)織道楽塩野屋

その他：(株)両双（食品等）、(有)ウェイズ（通販）

(蚕品種)

緑繭1号（都浅黄）、黄白

(絹製品等)

健康商品（下着、タオル、ニット）、美容製品（桑茶、桑パウダー、絹化粧水）等

2. 白繭細1号プロジェクト開発チーム

(代表者)

株式会社マルシバ

社長 木下幸太郎

東京都中央区人形町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県JA上伊那、JAみなみ信州、(2,600kg)、農家数11戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芋田機業（丹後）、五十嵐商事（五泉）

染色・他：(株)龍工房（組紐）、(株)矢代仁（お召）

その他：(株)マルシバ、(株)三越 他

(蚕品種)

白繭細1号

(絹製品等)

京友禅の訪問着、組紐、お召、白生地、後染反物等

3. 絹を未来にプラチナボーイ研究会

(代表者)

株式会社マルシバ

社長 木下幸太郎

東京都中央区人形町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：茨城県（みどり農協）、千葉県、(2,700kg)、農家数 8 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芋田機業、江口機業、田勇機業

その他：(株)銀座もとじ、(株)マルシバ

(蚕品種)

プラチナボーイ

(絹製品等)

先染め織物として大島紬、結城紬、先染反物、後染反物

4. 日本蚕糸絹業開発協同組合 国産シルク研究会

(代表者)

日本蚕糸絹業開発協同組合

代表理事 小林幸夫

高崎市問屋町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（安中、前橋、渋川、榛東等）(39,680kg)、
農家数 120 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：南久ちりめん(株)、(株)ワタマサ、(株)カブト等

撚糸：(有)江島屋

染色・他：(有)江島屋

その他：絹小沢

(蚕品種)

新小石丸、世紀二一、ぐんま 200 等

(絹製品等)

白生地、胴裏、長襦袢、八掛地、紋付地

5. 富岡シルクブランド協議会

(代表者)

富岡シルクブランド協議会

会長 富岡市長（富岡市教育委員会世界遺産推進課）

富岡市富岡

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（JA甘楽富岡）（6,080kg）、農家数 21 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合、(株) 宮坂製糸所

その他：富岡シルクブランド協議会

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

タオル、繭パフ、スカーフ、ハンカチ、民芸品、ネクタイ、禪等

6. 日本の繭ときもの文化を考える会

(代表者)

田中種株式会社

社長 田中隆

大阪市中央区南本町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（安中）（360kg）、農家数 2 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：南久ちりめん(株)

撚糸：高田勝(株)

染色・他：高田勝(株)

その他：田中種(株)

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

極型小紋、後染反物（小紋）、紋意匠

7. 日本蚕糸絹業開発協同組合 国産シルク研究会 普通蚕種部会

(代表者)

日本蚕糸絹業開発協同組合

代表理事 小林幸夫

群馬県高崎市問屋町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（前橋市、高崎市）（13,000kg）、農家数 52 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(株)カブト、坪金工業(株)、坪金絹織物、番国(株)、長島織物

撚糸：(有) 江島屋

染色・他：（有）江島屋
その他：絹小沢（株）、（有）長島織物、渡辺絹織物
（蚕品種）
普通蚕種
（絹製品等）
白生地、胴裏、長襦袢地、八掛、紋付地

8. 西陣純国産絹振興会

（代表者）
西陣織工業組合
理事長 渡邊隆夫
京都市上京区堀川通今出川南入
（提携グループの主たる構成者）
繭生産：群馬県（安中）（1,650kg）、福島県（川俣）、（495kg）計 2,145kg、
農家数 4 戸
製糸：碓氷製糸農業協同組合
製織：西陣織工業組合
撚糸：東北撚糸（株）
染色・他：加賀ゲンゼ（株）
その他：西陣織工業組合、（有）関根商店
（蚕品種）
普通蚕種
（絹製品等）
シルクリボン、マフラー

9. 平田グループ研究会

（代表者）
株式会社平田組紐
代表取締役 平田晃
東京都豊島区長崎
（提携グループの主たる構成者）
繭生産：群馬県（藤岡、みどり）（6,200kg）、農家数 46 戸
製糸：碓氷製糸農業協同組合
製織：（株）平田組紐
撚糸：田宮繊維（株）
染色・他：小林練染工場（精練）、山金商店（染）

その他：(有) いのうえ
(蚕品種)
ぐんま 200
(絹製品等)
帯締、羽織紐

10. 新潟県産繭・絹振興会

(代表者)
合資会社山岸織物
代表社員 山岸良三
新潟県小千谷市土川
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：新潟県 (1,650kg)、農家数 14 戸
製糸：赤城シルク
製織：(合) 山岸織物
撚糸：(合) 山岸織物
染色・他：(株) しょうざん (生紬)
その他：朝日村まゆの花の会
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
生紬 (なまつむぎ)、繭クラフト

11. 綾の小石丸の会

(代表者)
株式会社あきやま
代表取締役 秋山典子
宮崎県東諸県郡綾町大字北俣
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：宮崎県小石丸 (180kg)、特定交雑種 (80kg) 計 260kg 、
農家数 4 戸
製糸：(株) 宮坂製糸所、(株) あきやま
製織：(株) あきやま
撚糸：塩野屋、森田撚糸、(株) あきやま
染色・他：(株) あきやま
その他：(株) あきやま

(蚕品種)

小石丸他

(絹製品等)

手織り着物、訪問着、ショール、先染反物、マフラー等

1 2. 玉小石牛首紬研究会

(代表者)

大門屋

店主 高橋弘直

福井県大野市元町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福井県（100kg）、農家数1戸

製糸：加藤機業場

製織：加藤機業場

その他：大門屋

(蚕品種)

玉小石

(絹製品等)

玉小石を使用した牛首紬（白生地、着尺、帯地）

1 3. 東京シルクの会

(代表者)

有限会社内海呉服店

代表取締役 内海康治

東京都世田谷区祖師谷

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：東京都普通蚕種（600kg）、特殊蚕種（115kg）計 715kg 、
農家数7戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合、(株)宮坂製糸所

製織：河芳織物(有)、(有)大原織物

撚糸：山口撚糸

染色・他：(有)大原織物

その他：長島繊維(株)、内海呉服店

(蚕品種)

普通蚕種、特殊蚕種（青熟種、四川三眠種）

(絹製品等)

白生地、洋装品、ストール、先染め反物

14. ふじやまシルクプロジェクト

(代表者)

株式会社 J S

代表取締役 柏木秀樹

山梨県富士吉田市大明見

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：山梨県（西八代、ふじかわ、甲府市）(4,611kg)、農家数 12 戸

製糸：松沢製糸所

製織：(有)カシワギ、小泉織物、(株)オヤマダ

染色・他：(有)カシワギ

その他：(株)山桜、高野縫製所

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

スカーフ、ネクタイ、洋装品（シャツ、ブラウス、スカート、コート等）、
布団

15. 信州繭ブランド織物振興会

(代表者)

(有)シンセイ

代表取締役 清水武彦

長野県松本市大字中山

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（長野市）(250kg)、農家数 2 戸

製糸：(株)宮坂製糸所、松沢製糸所

製織：織処丸重

撚糸：久保田織染工業(株)

染色・他：久保田織染工業(株)

その他：(有)シンセイ

(蚕品種)

小石丸、黄緑繭

(絹製品等)

小石丸等の特長ある蚕品種を使った信州紬、伊那紬、上田紬、後染スカーフ

16. 千總純国産絹製品販売・商品開発グループ

(代表者)

株式会社千總友仙工場

代表取締役 俵武司

京都市中京区三条通烏丸西入御倉町 72

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：青森県、岩手県、山形県、宮城県、福島県（みちのく安達、
郡山市、そうま、ふたば）、群馬県（みなかみ）、(34,000kg)、
農家数 95 戸

製糸：松岡(株)

製織：加賀ゲンゼ(株)、美雲織物(株)、(株)匠、(株)竹林

撚糸：(株)千總、昭和撚糸工業(株)

染色・他：(株)千總

その他：(株)千總友仙工場、宮井(株)、(株)高島屋

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

振袖、訪問着、付下、後染反物(振袖、訪問着、色無地、喪服、黒留袖、
七五三、着物)、白生地、胴裏地、長襦袢地等

17. 碓氷製糸シルク工房の会

(代表者)

碓氷製糸農業協同組合

代表理事組合長 高村育也

群馬県安中市松井田町新堀甲

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県(JA碓氷安中、JA前橋)(18,000kg)、農家数 110 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：工房、個人作家等

撚糸：工房、個人作家等

染色・他：工房、個人作家等

その他：工房、個人作家等

(蚕品種)

春嶺×鐘月、錦秋×鐘和、新小石丸、世紀二一、ぐんま200、ぐんま
黄金

(絹製品等)

工房等の小ロット取引(47 者)の絹製品(着尺、帯、組紐、紬、
ネクタイ、小物)

18. 伊予生糸を守る会

(代表者)

西予市蚕糸業振興協議会

会長 福原純一

愛媛県西予市野村町野村

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：愛媛県(2,500kg)、農家数11戸

製糸：(株)野村町地域振興センター

製織：(株)龍村美術織物、野村シルク博物館シルク工房及び工房作家

その他：西予市蚕糸業振興協議会

(蚕品種)

あけぼの、青白

(絹製品等)

帯、白生地

19. 絹の会ぐんま200プロジェクト

(代表者)

絹の会

会長 西尾仁志

群馬県前橋市日吉

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県(前橋市)(960kg)、農家数2戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：染織工芸家等(19 者)

撚糸：染織工芸家等(19 者)

染色・他：染色工芸家(19 者)

その他：西尾呉服店等(19 者)

(蚕品種)

ぐんま200

(絹製品等)

染織工芸家の制作する絹製品(伝統織物の反物、帯、ストール、組紐、
春繭は生挽き、晩秋繭は塩蔵後生挽き)

20. りょうぜん天蚕の会

(代表者)

伊達天蚕推進研究会

会長 柳沼泰衛

福島県伊達市霊山町中川橋本

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福島県天蚕繭(60kg)、家蚕繭(60kg)、農家数8戸

製糸：りょうぜん天蚕の会

製織：りょうぜん天蚕の会

撚糸：東北撚糸(株)

染色・他：りょうぜん天蚕の会

(蚕品種)

天蚕、普通蚕種

(絹製品等)

繭工芸品等(紬、ショール等)

21. 絹で奏でる音世界グループ

(代表者)

株式会社鳥羽屋

代表取締役 小篠敏之

京都市上京区油小路通下立売下る西裏辻町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：岐阜県(600kg)、農家数20戸

製糸：特殊生糸製造業者(西村英雄)

撚糸：(株)鳥羽屋

染色・他：(株)鳥羽屋

その他：(財)岐阜県蚕糸協会

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

三味線絃、琴絃、雅楽器絃等

22. 邦楽器糸用特殊生糸を守る会

(代表者)

丸三ハシモト株式会社

代表取締役 橋本圭祐
滋賀県長浜市木之本町木之本
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：岐阜県(600kg)、農家数 20 戸
製糸：大音特殊生糸協同組合
撚糸：丸三ハシモト(株)
染色・他：丸三ハシモト(株)
その他：岐阜県蚕糸協会
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
琴糸、三味線糸、胡弓糸、琵琶糸

2 3. ふくしまみらいシルクの会

(代表者)
西川産業株式会社
代表取締役 西川康行
東京都中央区日本橋富沢町
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県（福島市、伊達市、川俣町）(2,000kg)、農家数 22 戸
製糸：(有)関根商店(真綿生産)
染色・他：(有)関根商店
その他：西川産業(株)
(蚕品種)
普通蚕種、朝・日×東・海
(絹製品等)
入り金真綿布団

2 4. 結城紬風土 3 1 研究会

(代表者)
株式会社小倉商店
代表取締役 小倉敏行
茨城県結城市大字結城
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県（伊達市、晩秋蚕繭のみ）(500kg)、農家数 3 戸
製糸：(有)関根商店(真綿生産)

製織：(株)小倉商店
染色・他：(株)小倉商店
その他：(株)小倉商店
(蚕品種)
朝・日×東・海
(絹製品等)
結城紬

25. 川俣絹工房

(代表者)
福島寝装株式会社
代表取締役 佐藤雅巳
福島県伊達郡川俣町飯坂字下中居
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：福島県川俣町(春蚕)(300kg)、農家数5戸
製糸：松岡(株)(生糸)、石川彦太郎商店(真綿)
製織：斉栄織物(株)
染色・他：福島寝装(株)
その他：福島寝装(株)
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
純国産真綿布団

26. 白鷹瑞龍の会

(代表者)
株式会社布四季庵ヨネオリ
代表取締役 佐藤和雄
山形県米沢市城南1-4-18 布四季庵ヨネオリ内
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：山形県(144kg)、農家数1戸
製糸：松岡(株)
製織：新田(株)
撚糸：新田(株)
染色・他：新田(株)
その他：(株)布四季庵ヨネオリ

(蚕品種)

ブランド繭（小石丸×又昔）「鷹山」と命名

(絹製品等)

袴、先染反物（置賜紬）、ストール

27. 信州オリジナル絹の会

(代表者)

株式会社丸万中尾

取締役 中尾浩祥

滋賀県長浜市室町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（JA上伊那）(330kg)、農家数1戸

製糸：(株)宮坂製糸所

製織：織処丸重、南久ちりめん(株)

染色・他：(株)一会、柏田屋(株)

その他：(株)丸万中尾

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

江戸小紋、帯、後染反物（変わり一越、友禅、色無地）

28. 日本のお蚕さん発展協議会

(代表者)

田中種株式会社

代表取締役 田中隆

大阪府中央区南本町2-1-18 創建本町ビル3階

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（安中市）(270kg)、農家数3戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芝井(株)、南久ちりめん(株)

撚糸：芝井(株)、南久ちりめん(株)

染色・他：高田勝(株)

その他：田中種(株)

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

極小紋型模様小紋、後染反物（変わり一越）

29. 純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ

（代表者）

株式会社伊と幸

代表取締役 伊藤公一

京都市中京区御池通室町東入竜池町

（提携グループの主たる構成者）

繭生産：福島県（二本松市）（10,000kg）、農家数 21 戸

製糸：松岡（株）

製織：羽賀恒明（京都府）、白数織物（有）、河芳織物（有）

その他：（株）伊と幸

（蚕品種）

松岡姫

（絹製品等）

白生地ブランド「松岡姫」、白生地（色無地、帯地）、胴裏絹

30. 日本絹文化振興会

（代表者）

株式会社丸上

代表取締役 上達征次

東京都中央区日本橋久松町

（提携グループの主たる構成者）

繭生産：茨城県（かすみがうら市）（1,953kg）、農家数 6 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：（株）匠、芋田薫織物、

染色・他：小林染工房、（株）菱健

その他：（株）丸上、（有）幸和

（蚕品種）

普通蚕種

（絹製品等）

色無地、付下、染帯等

31. 日本の絹を守る会

（代表者）

株式会社西陣まいづる

代表取締役 舞鶴一雄
京都市上京区五辻通大宮
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：群馬県（安中市）(2,500kg)、農家数5戸
製糸：碓氷製糸農業協同組合
製織：(株)西陣まいづる
撚糸：丸八生糸(株)
染色・他：(株)西陣まいづる
その他：(株)西陣まいづる
(蚕品種)
普通蚕種（春嶺×鐘月）
(絹製品等)
袋帯

3.2. 甲斐絹グループ

(代表者)
株式会社甲斐絹座
代表取締役 前田一郎
山梨県富士吉田市下吉田
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：山梨県（JA笛吹、JA梨北、JAクレイン、JA巨摩野）
(3,886kg)、農家数15戸
製糸：松沢製糸所
製織：(株)甲斐絹座
撚糸：丸八生糸(株)
染色・他：(有)石森染色
その他：(株)甲斐絹座
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
ネクタイ、ストール、シャツ、座布団、クッション、ランプシェード、
スカーフ、ストール

3.3. 秩父シルクの会

(代表者)

有限会社ハック

代表取締役 松本信孝

千葉県習志野市藤崎

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（秩父市）(300kg)、埼玉県製糸協会、農家数 4 戸

製糸：松岡(株)

製織：アラキニット(株)

撚糸：(株)山嘉精練

染色・他：池田ソーイング

その他：(有)ハック、埼玉県製糸協会

(蚕品種)

いろいろ

(絹製品等)

インナーニット

3 4. 蚕彩会

(代表者)

装いの道株式会社

代表取締役 山中英靖

東京都文京区湯島

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（秩父市）(500kg)、埼玉県製糸協会、農家数 4 戸

製糸：松岡(株)

製織：(有)酒井

撚糸：(有)酒井

染色・他：(株)二葉

その他：装いの道(株)、装道グループで販売

(蚕品種)

いろいろ

(絹製品等)

振袖、訪問着、小紋、帯等

3 5. 越後絹の会

(代表者)

株式会社猪井

代表取締役 猪井一之

新潟県長岡市柏町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：茨城県（かすみがうら市）(360kg)、農家数 1 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(関係者) (株) 匠、芋田織物

染色・他：(株) 猪井、(関係者) 小林染工、(株) 西原

その他：(有) 幸和、(株) 猪井

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

色無地、付下、染帯等

3 6. きわみ絹の会

(代表者)

第一衣料株式会社

代表取締役 金子守隆

東京都中央区日本橋富沢町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：茨城県（石岡市）(480kg)、農家数 2 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(関係者) (株) 匠、芋田織物

染色・他：(株) 田中勝 (関係者) 小林染工、(株) 西原

その他：第一衣料 (株)、(有) 幸和

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

色無地、付下、染帯等

3 7. 愛媛県蚕種の会

(代表者)

愛媛県蚕種株式会社

代表取締役 兵頭眞通

愛媛県八幡浜市保内町川之石

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：愛媛県（大洲市）(300kg)、農家数 2 戸

その他：愛媛蚕種 (株)

(絹製品等)

種繭生産

38. 日本蚕糸絹業開発協同組合

国産シルク研究会 熊本部会

(代表者)

日本蚕糸絹業開発協同組合

代表理事 小林幸夫

群馬県高崎市問屋町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：鹿児島県（奄美大島）農家数2戸、熊本県（山鹿市、大津町、
美里町）(580kg)農家数6戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(株)カブト、番國(株)、(株)夢よりの郷、(株)みなみ紬

撚糸・精練：(株)山本繊維

染色・他：(有)江島屋染工場、(有)今井整理

その他：絹小沢(株)、(株)鶴屋百貨店

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

胴裏絹、長襦袢等

39. 上田蚕種の会

(代表者)

上田蚕種株式会社

代表取締役 手塚本衛

長野県上田市常田

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬県（前橋市、高崎市）、岐阜県（白川町）、(500kg)、
農家数6戸

その他：上田蚕種(株)

(絹製品等)

種繭生産

40. 高原社蚕種の会

(代表者)

株式会社高原社
代表取締役 関秀一
長野県松本市元町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（みなみ信州）、山梨県（南部町）、(400kg)、農家数 6 戸
その他：(株) 高原社

(絹製品等)

種繭生産

4 1. 富田蚕種製造所蚕種の会

(代表者)

富田蚕種製造所
所長 富田克衛
福島県伊達市伏黒字北屋敷

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福島県（二本松市、伊達市、川俣町）、宮城県（丸森町）、(510kg)、
農家数 12 戸

その他：富田蚕種製造所

(絹製品等)

種繭生産

4 2. 関根商店シルク工房の会

(代表者)

有限会社関根商店
代表取締役社長 関根實
福島県伊達市保原町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福島県（川俣町、飯野町）(1,500kg)、農家数 13 戸

製糸：(真綿生産) (有) 関根商店

その他：(有) 関根商店

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

生繭から真綿生産、真綿関係等の商品を必要とするシルク工房へ供給

4 3. HIKOTAROU☆入金真綿工房の会

(代表者)

石川彦太郎商店

石川隆

福島県伊達市保原町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福島県（川俣町、飯野町）（1,700kg）、農家数 13 戸

製糸：（真綿生産）石川彦太郎商店

その他：石川彦太郎商店

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

生繭から真綿生産、真綿関係等の商品を必要とするシルク工房へ供給

4 4. 野田定吉商店シルク工房の会

(代表者)

野田定吉商店

代表 野田喜己

福島県伊達市保原町所沢字安部

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：福島県（川俣町、飯野町）（2,000kg）、農家数 13 戸

製糸：（真綿生産）野田定吉商店

その他：野田定吉商店

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

生繭から真綿生産、真綿関係等の商品を必要とするシルク工房へ供給

4 5. 近江真綿振興会グループ協議会

(代表者)

近江真綿振興会グループ協議会

代表者 北川茂次郎

滋賀県米原市多和田

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：愛媛県（大洲市、宇和島市等）（6,250kg）、農家数 8 戸

製糸：（生糸）松沢製糸所、（真綿）北川茂次郎

製織：（株）おおまえ

撚糸：(株)おおまえ
染色・他：原田誠祐商店
その他：北川茂次郎他
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
純国産真綿布団（純国産の側生地、中綿は角真綿を手引きした純国産真綿）

4 6. 宮坂製糸シルク工房の会

(代表者)
株式会社宮坂製糸所
代表取締役 宮坂照彦
長野県岡谷市東銀座
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：長野県（上伊那）(1,585kg)、農家数4戸
製糸：(株)宮坂製糸所
製織：織処丸重
撚糸：(委託加工)
染色・他：(委託加工)
その他：(株)宮坂製糸所
(蚕品種)
普通蚕種、玉繭品種
(絹製品等)
座繰り生糸、多様な織度・繰糸方法等の原糸を供給

4 7. 千葉県ブランド繭推進協議会

(代表者)
株式会社宮坂製糸所
代表取締役 宮坂照彦
長野県岡谷市東銀座
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：千葉県（千葉県蚕糸業協会）(2,150kg)、農家数16戸
製糸：(株)宮坂製糸所（座繰り）、三眠蚕・生繰り（シルクカンパニー外村）
撚糸：下村ねん糸、丸三ハシモト(株)

その他：(株)宮坂製糸所、千葉県蚕糸業協会
(蚕品種)

普通蚕種、三眠蚕

(絹製品等)

① 座繰り・自動繰糸、②三眠蚕、③生繰り糸

48. 松沢製糸紬工房の会

(代表者)

松沢製糸所

代表者 松沢正

長野県諏訪郡下諏訪町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：長野県（長野、佐久、諏訪）、高知県、兵庫県、(1,485kg)、
農家数 8 戸

製糸：松沢製糸所

製織：久保田織染工業(株)、(有)藤本、織処 丸重、南久ちりめん(株)

撚糸：久保田織染工業(株)、(有)藤本、織処 丸重

染色・他：久保田織染工業(株)、(有)藤本、織処 丸重

その他：(有)シンセイ、(株)西脇商店、(有)山田呉服店

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

信州紬(伊那紬、上田紬)、帯、白生地

49. 純国産シルクを守る会

(代表者)

碓氷製糸農業協同組合

代表理事組合長 高村育也

群馬県安中市松井田新堀甲

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：群馬（164）、宮城（13）、福島（15）、栃木（28）、茨城（15）、
千葉（2）、長野（20）、岐阜（20）、愛知（2）、(8,050kg)、
農家数 279 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：(有)ミヤマ全織、渡豊工房

撚糸：(委託加工)

染色・他：（委託加工）

その他：碓氷製糸農業協同組合、丸八生糸（株）、（株）深田商店、（有）吉川商事

（蚕品種）

普通蚕種、新小石丸、ぐんま２００、上州絹星、あけぼの、改良小石丸

（絹製品等）

シルク工房や製織者等に対して生糸・撚糸等を供給

５０．アルチザン

（代表者）

株式会社マルシバ

代表取締役 木下幸太郎

東京都中央区日本橋人形町 3-5-4 MS-2 ビル 6階

（提携グループの主たる構成者）

繭生産：茨城県（常陸大宮市、大子町）（750kg）、農家数 2 戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合

製織：芋田織物

撚糸：芋田織物

染色・他：藤井絞（株）

その他：（株）マルシバ

（蚕品種）

蚕技研 1 1 号

（絹製品等）

白生地、訪問着・染帯、男物着尺・羽織等

５１．純国産絹糸を守る会

（代表者）

勝山織物株式会社

代表取締役 勝山嘉夫

京都府京都市北区衣笠北高橋町

（提携グループの主たる構成者）

繭生産：長野県（飯田市）（335kg）、農家数 1 戸

製糸：勝山織物（株）

製織：勝山織物（株）

撚糸：勝山織物（株）

染色・他：勝山織物(株)
その他：勝山織物(株)
(蚕品種)
あけぼの
(絹製品等)
自社で撚糸・製織し、きもの・帯

5 2. 純国産絹振興会 “絹なり”

(代表者)
織匠 万勝
代表 前田章
京都市中京区堀川通御池下ル東入ル鍛冶町
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：群馬県(伊勢崎市、渋川市)(4,970kg)、農家数 17 戸
製糸：碓氷製糸農業協同組合
製織：織匠万勝
撚糸：(株)日本加工糸小松工場
染色・他：織匠万勝
その他：橋本常(株)、織匠万勝
(蚕品種)
普通蚕種
(絹製品等)
袋帯、着尺

5 3. Silk So Good

(代表者)
富士新幸(株)
代表取締役 白須資望
山梨県都留市平栗
(提携グループの主たる構成者)
繭生産：埼玉県(深谷市)(500kg)、農家数 3 戸
製糸：松沢製糸所
製織：富士新幸(株)
撚糸：松村(株)
染色・他：小野田染色
その他：(有)コバヤシ、山梨県織物整理(株)、丹後織物工業組合

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

真綿布団、布団カバー等

5 4. 埼玉シルクの会

(代表者)

有限会社コバヤシ

代表取締役 小林嘉朗

埼玉県狭山市祇園

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（埼玉中央、秩父、花園）(1,680kg)、農家数 11 戸

製糸：松岡(株)、秩父銘仙館、NPO法人きもの川越散歩

製織：秩父銘仙館、NPO法人きもの川越散歩

染色・他：秩父銘仙館、NPO法人きもの川越散歩、(有)塩野屋

その他：(有)山脇源平商店、(株)キュービック、日本刺繍紅会

(蚕品種)

普通蚕種、いろいろ

(絹製品等)

高級織物、ちちぶ銘仙、真綿、化粧石鹸、化粧品、ニット

5 5. 松沢製糸所純国産シルクの会

(代表者)

松沢製糸所

代表者 松沢正

長野県諏訪郡下諏訪町

(提携グループの主たる構成者)

繭生産：埼玉県（いるま野、埼玉中央、ちちぶ、埼玉ひびき、深谷、
花園）(13,960kg)、農家数 51 戸

製糸：松沢製糸所

製織：(有)梅徳機業場

撚糸：高貞(株)、大江繊維(株)

その他：(有)コバヤシ、若竹(株)

(蚕品種)

普通蚕種

(絹製品等)

着尺（先染め）、着尺（後染め）、シルクニット

56. 奄美島絹振興研究会

（代表者）

奄美島絹推進協議会

会長 南祐和

鹿児島県大島郡龍郷町大勝

（提携グループの主たる構成者）

繭生産：鹿児島県（奄美大島）（750kg）、農家数8戸

製糸：碓氷製糸農業協同組合、奄美島絹推進協議会

製織：（株）夢おりの郷、（株）みなみ紬、（株）アーダン

撚糸：（株）夢おりの郷、（株）みなみ紬、（株）アーダン

染色・他：（株）夢おりの郷、（株）みなみ紬、（株）アーダン

その他：（株）夢おりの郷、（株）みなみ紬、（株）アーダン

（蚕品種）

普通蚕種、琉球多蚕繭

（絹製品等）

大島紬、小物、帯、化粧品等、先染反物（大島紬）、先染帯地（大島紬）

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

平成 25 年 7 月 29 日現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、黒留袖、喪服）、 胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹（いづき）	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城 紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家 作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物（株）	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(株) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
017	(有) 琴路屋	岩手県釜石市	後染反物（色無地、黒紋付）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地
019	丸善本店	福島県いわき市	後染反物（色無地、黒紋付）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 （絹小沢（株））	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、灰汁浸加工、トルマリン 加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、 白生地（世紀二一）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超 えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袷紗）
022	宮階織物（株）	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物（有）	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯）、先染反物（御召類）、後染反 物、先染帯地（袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）
027	(有) 織道楽塩野屋	京都市上京区	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、 手袋、靴下））

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、付下、友禅、色無地）、後染帯地
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	東京都中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、 白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）
031	(株) さが美	横浜市港南区	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物（色無地、黒紋付）
033	(有) 特選呉服専門店 後藤	青森県むつ市	後染反物（色無地、黒紋付）
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物（色無地、黒紋付、小紋）
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物（色無地）、後染帯地、白生地（表地）、白生地（胴裏、 帯地）
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物（色無地、黒紋付）
038	(株) 栴屋高尾	京都市北区	先染帯地（袋帯）
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物（色無地、黒紋付）
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物（色無地、黒紋付）
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）、白生地（結城紬）
042	染織家柳崇	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	染織家児玉京子	沖縄県竹富町	先染反物
044	草木染工房山村	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、ストール
045	手織りよおん	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房	沖縄県石垣市	先染反物（紋紬、緋）、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音（株）	京都市中京区	後染反物（色無地（変三越、駒紬））
051	やまと（株）	京都市下京区	後染反物
053	桜井（株）	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物（有）	京都市上京区	先染帯地
055	太田和（株）	京都市中京区	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物（色無地、黒紋付）
058	浅山織物（株）	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
060	田中種（株）	大阪市中央区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、黒紋付、加賀友禅、色無地）、後染帯地（九寸名古屋帯）、ニット（靴下）
061	（株）京扇	東京都中央区	後染反物（色無地）、胴裏（パールトーン加工）
062	（株）なごみや	横浜市都筑区	後染反物（色無地、黒紋付）
063	丸池藤井（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）、八掛
064	久保商事（株）	京都市中京区	和装小物（帯揚げ、半衿）
065	加賀グンゼ（株）	石川県小松市	胴裏
066	千切屋（株）	京都市中京区	後染反物（訪問着、付下）、後染帯地
067	荒川（株）	京都市下京区	和装小物（帯締、帯揚げ）
068	第一衣料（株）	東京都中央区	後染反物（色無地）
069	（株）紅輪	川崎市宮前区	後染反物（色無地）
070	装いの道（株）	東京都千代田区	白生地（帯地、表地）、胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸）
071	（株）高橋屋	岩手県一関市	胴裏（灰汁浸加工）
072	おお又（株）	大阪市旭区	胴裏（灰汁浸加工）
073	（株）天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏（ぐんま 200（灰汁浸加工））、白生地（表地）
074	（株）きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏（パールトーン加工）
075	（株）とみひろ	山形県山形市	胴裏（酵素精練）
076	（株）細安	福井県福井市	胴裏（酵素精練）
077	京和きもの（株）	神奈川県厚木市	胴裏（酵素精練）
078	（株）まるため	長野県長野市	胴裏（トルマリン加工、パーリー加工）
079	（株）小川屋	群馬県前橋市	胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工）
080	（株）エムラ	山口県防府市	胴裏（酵素精練）
081	（株）荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏（酵素精練）
082	（株）牛島屋	富山県富山市	胴裏（酵素精練）、後染反物（小紋）
083	（株）谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏（酵素精練）
084	（株）登美屋	岩手県北上市	胴裏（パールトーン加工）
085	（株）川平屋	愛知県豊田市	胴裏（パールトーン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
086	丸専第一衣料（株） （丸専きもの）	新潟県長岡市	胴裏（パールトーン加工）
087	（株）大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地（胴裏、比翼地（振袖用））、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール
089	（株）あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
090	藤井絞（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装 品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
096	(株) 北尾織物匠	京都市上京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5%を超えるもの)
100	京商 (株)	鳥取県米子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(株) 絹もの屋まっなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が 5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金 銀糸が 5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物（色無地）
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物（色無地）
125	(株) 九十	大阪府東大阪市	後染反物（小紋）
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏（酵素精練）
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地（表地用（紋意匠））
128	大門屋	福井県大野市	白生地（牛首紬）、後染帯地（牛首紬）
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物（帯揚げ、半衿）
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物（小紋）
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物（小紋）
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物（小紋）
133	西川産業（株）	東京都中央区	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣（長肌着、短肌着）
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物（小紋）
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物（小紋）
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物（小紋）
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物（小紋）
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物（小紋）
142	五嶋（株）	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋）
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井（株）	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ
150	(有) さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物（色無地、付下）
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物（株）	京都市北区	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
155	東朋（株）	京都府与謝野町	ストール
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
165	(株) 染織こうげい	東京都中央区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) やまだ呉服店	長野県諏訪市	白生地 (縮緬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館 “紫” (ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 ((財) 日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌木 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静市市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5-1	0287-36-0949
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399

名 称	〒	住 所	電 話
日本司法博物館（松本歴史の里）	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設（結城市伝統工芸館）	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」（つるばみ）	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉淵町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2（大杉公園隣り）	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号（上田城跡公園内）	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館（織の文化館）	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房（織りの資料館）	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 514	0749-37-4131
織元田勇（田勇機業株式会社）	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(財) 大日本蚕糸会 シェパンスルクセンター
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafts.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室

<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科

<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>

(国) 東京農工大学工学部生命工学科

<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>

(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程

<http://www.bio.kit.ac.jp/>

(国) 京都工芸繊維大学

<http://www.kit.ac.jp/>

(国) 信州大学繊維学部

<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>

(国) 名古屋大学農学部

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

(国) 北海道大学応用分子生物学講座

http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html

(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室

<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>

(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻

http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース

<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement/bio/biofunc/index.html>

(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科

<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>

(独) 農業生物資源研究所

<http://www.nias.affrc.go.jp>

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所

http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html

(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545

群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)

http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241

京都府織物・機械金属振興センター

<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>

京都市産業技術研究所繊維技術センター

<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学 会】

日本シルク学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>

日本蚕糸学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/jsss2/>

日本野蚕学会

<http://jswsmo.appspot.com/index.html>

【博物館】

(財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>

群馬県立日本絹の里

<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>

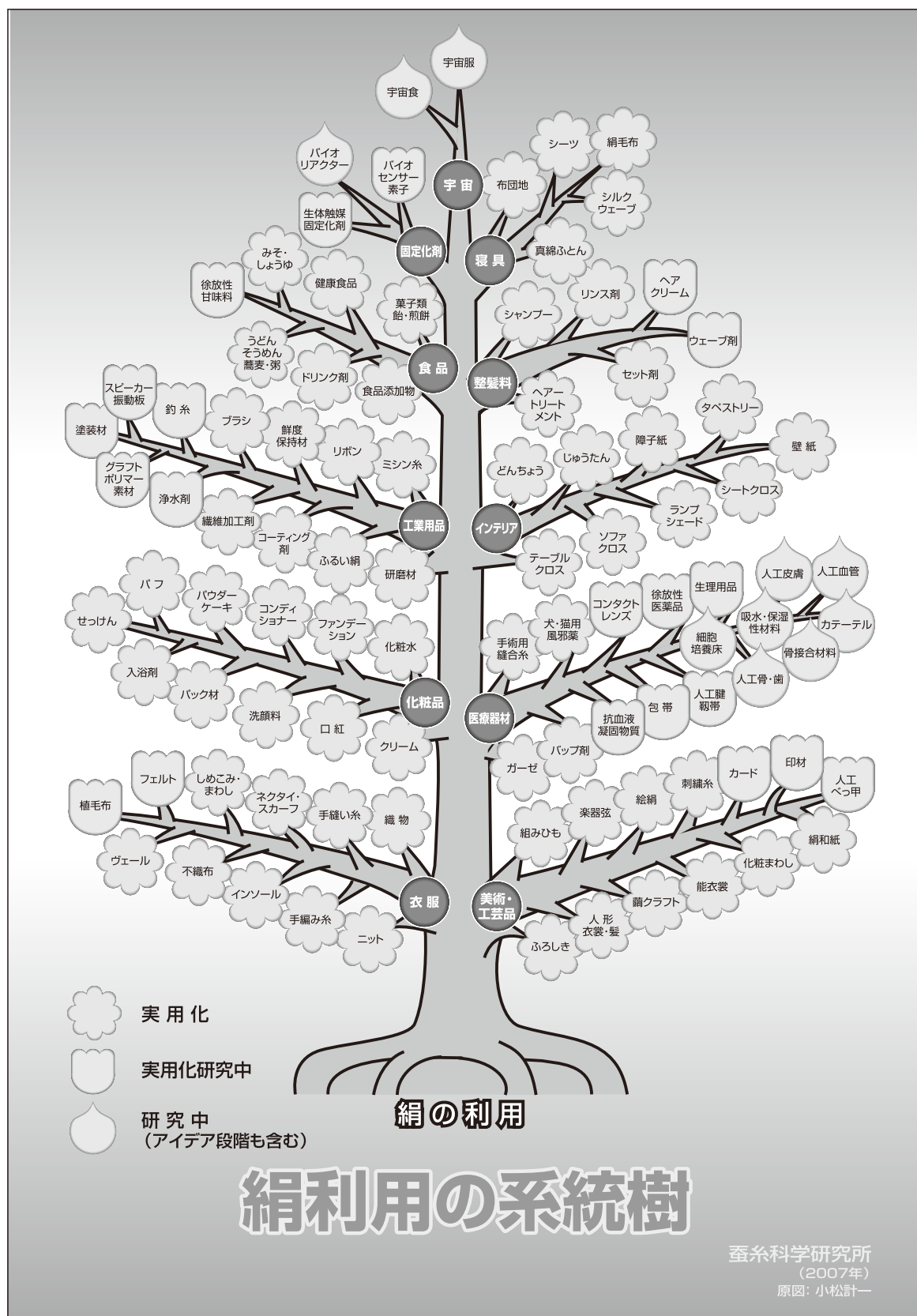
愛媛県西予市立野村シルク博物館

<http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk>

東京農工大学科学博物館

<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

絹にはこんなにいろいろな使い道があります。



統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	73
(2) 養蚕農家数の推移	74
(3) 繭生産数量の推移	75
(4) 平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	76
(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量	77
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移(2010～2012年)	78
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	79
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	80
(9) 国産生糸価格実態	81
(10) 絹需給の推移(生糸量換算試算)	82
(11) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)	83
(12) 製糸工場の原料繭需給	84
(13) 製糸工場の操業状況	85
(14) 生糸在庫数量の内訳	86
(15) 蚕糸関係品目別輸入状況	87
(16) 生糸の原産国別輸入数量	88
(17) 絹糸の原産国別輸入数量	89
(18) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	90
(19) 絹織物生産数量	91
(20) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	92
(21) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	93

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	94
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	95
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	96
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	97
(5) 中国のシルク類(生糸・絹糸・絹織物)の輸出状況	98
(6) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	99
(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	100
(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	101
(9) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	102
(10) 中国省別従業員年平均賃金(2011年)	103
(11) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	104
(12) ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移	105

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次 (暦年) Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
9年	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1997 10年	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1998 11年	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
1999 12年	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2000 13年	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2001 14年	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2002 15年	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2003 16年	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2004 17年	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2005 18年	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2006 19年	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2007 20年	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
2008 21年	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
2009 22年	756	265	351	0.9	7	49	35.9	11,612
2010 23年	627	220	351	0.7	7	50	34.7	10,418
2011 24年	571	202	354	0.5	7	50	33.3	9,974
2012 前年対比 (%) 2012/11	91.1	91.8	100.9	71.4	100.0	100.0	96.0	95.7

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 ・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。
 ・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
 ・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機工業会調査である。
 平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
 ・平成23年以降の養蚕業は(財)大日本蚕糸会調査である。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 ・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
対前年比 2012/11 (%)		91.1	91.5	89.1	87.0

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

年 次 Year	項 目 Item	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
		年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
		t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
1994		7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170
1995		5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172
1996		3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173
1997		2,516	982	678	857	398	174	153	167
1998		1,980	769	588	623	390	169	157	151
1999		1,496	596	391	509	371	166	144	155
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002		880	330	231	320	373	166	134	167
2003		775	313	210	253	374	167	140	144
2004		675	256	176	243	369	158	128	157
2005		626	243	165	218	396	171	156	162
2006		505	209	122	173	375	172	143	157
2007		433	175	110	148	371	166	152	150
2008		382	147	96	139	374	158	157	162
2009		327	124	85	118	357	152	131	156
2010		265	107	60	98	351	165	121	154
2011		220	95	49	76	351	169	136	143
2012		202	79	50	73	354	155	156	159
対前年比 2012/11 (%)		91.8	83.2	102.0	96.1	100.9	91.7	114.7	111.2
2012年 構成比 (%)		100.0	39.1	24.8	36.1				

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(4)平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2012

(単位:戸、%)

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年 間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	16	16	100.0	19	16	84.2	22	17	77.3	23	21	91.3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	16	18	112.5	16	11	68.8	17	17	100.0	22	21	95.5
山形県	9	7	77.8	7	6	85.7	8	7	87.5	10	8	80.0
福島県	51	58	113.7	44	50	113.6	56	57	101.8	60	65	108.3
茨城県	25	25	100.0	23	23	100.0	21	21	100.0	28	28	100.0
栃木県	33	27	81.8	24	21	87.5	31	26	83.9	33	27	81.8
群馬県	239	197	82.4	139	113	81.3	227	189	83.3	261	217	83.1
埼玉県	53	48	90.6	39	29	74.4	51	43	84.3	57	49	86.0
千葉県	7	9	128.6	5	6	120.0	8	8	100.0	8	12	150.0
東京都	5	4	80.0	-	-	-	4	5	125.0	6	6	100.0
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	10	10	100.0	2	2	100.0	-	-	-	10	12	120.0
福井県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
山梨県	24	23	95.8	9	8	88.9	20	18	90.0	26	24	92.3
長野県	23	16	69.6	17	16	94.1	21	14	66.7	26	22	84.6
岐阜県	16	17	106.3	-	-	-	17	14	82.4	18	17	94.4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	2	200.0	1	2	200.0	-	-	-	1	2	200.0
京都府	3	4	133.3	-	-	-	4	3	75.0	4	4	100.0
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	-	1	-	1	1	100.0
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	15	17	113.3	10	8	80.0	12	10	83.3	17	18	105.9
高知県	4	3	75.0	-	-	-	2	1	50.0	4	3	75.0
熊本県	5	7	140.0	-	-	-	3	5	166.7	5	7	140.0
宮崎県	2	2	100.0	-	2	-	2	1	50.0	2	2	100.0
鹿児島県	3	2	66.7	0	3	-	3	3	100.0	3	3	100.0
全国計	562	514	91.5	358	319	89.1	531	462	87.0	627	571	91.1

資料:(財)大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量
Cocoon production by prefectures in 2012.

(単位：kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	—	—	—	156.3	157.2	100.6%	119.3	131.8	110.5%	275.6	289.0	104.9%
岩手県	1,977.5	1,858.5	94.0%	2,318.9	2,968.4	128.0%	2,474.0	2,225.8	90.0%	6,770.4	7,052.7	104.2%
宮城県	2,127.1	2,305.8	108.4%	2,341.8	2,313.1	98.8%	2,248.6	2,633.0	117.1%	6,717.5	7,251.9	108.0%
山形県	1,315.2	1,200.6	91.3%	767.4	1,013.7	132.1%	1,638.3	1,603.9	97.9%	3,720.9	3,818.2	102.6%
福島県	11,519.5	10,681.1	92.7%	8,972.5	10,834.8	120.8%	13,617.0	14,384.8	105.6%	34,109.0	35,900.7	105.3%
茨城県	4,486.0	3,817.2	85.1%	2,323.2	2,478.9	106.7%	3,028.4	2,704.4	89.3%	9,837.6	9,000.5	91.5%
栃木県	11,488.4	7,663.1	66.7%	5,259.7	4,262.8	81.0%	9,370.2	9,605.6	102.5%	26,118.3	21,531.5	82.4%
群馬県	42,178.0	34,931.3	82.8%	18,729.3	17,645.8	94.2%	28,938.0	27,792.0	96.0%	89,845.3	80,374.1	89.5%
埼玉県	7,692.5	6,520.4	84.8%	3,308.7	2,593.8	78.4%	6,061.7	4,757.8	78.5%	17,062.9	13,872.0	81.3%
千葉県	1,168.6	1,213.3	103.8%	569.4	633.0	111.2%	1,113.4	944.4	84.8%	2,851.4	2,790.7	97.9%
東京都	386.0	235.1	60.9%	—	—	—	163.3	178.5	109.3%	549.3	413.6	75.3%
山梨県	3,665.7	2,978.8	81.3%	805.7	1,095.3	135.9%	2,233.2	1,769.2	79.2%	6,704.6	5,843.3	87.2%
長野県	2,714.3	2,129.2	78.4%	1,765.0	1,855.0	105.1%	2,440.2	1,974.1	80.9%	6,919.5	5,958.3	86.1%
新潟県	186.4	159.8	85.7%	54.3	—	—	—	—	—	240.7	159.8	66.4%
福井県	62.4	32.2	51.6%	21.2	18.9	89.2%	23.0	34.3	149.1%	106.6	85.4	80.1%
岐阜県	1,086.0	874.9	80.6%	—	—	—	614.1	605.0	98.5%	1,700.1	1,479.9	87.0%
愛知県	64.1	36.9	57.6%	—	62.0	—	—	—	—	64.1	98.9	154.3%
兵庫県	42.0	75.0	178.6%	35.0	38.2	109.1%	—	41.5	—	77.0	154.7	200.9%
京都府	111.4	102.5	92.0%	—	—	—	93.3	77.0	82.5%	204.7	179.5	87.7%
愛媛県	1,992.9	1,789.7	89.8%	1,350.5	1,551.1	114.9%	1,482.3	1,386.4	93.5%	4,825.7	4,727.2	98.0%
高知県	228.4	168.7	73.9%	—	—	—	86.7	15.3	17.6%	315.1	184.0	58.4%
熊本県	431.9	449.1	104.0%	—	—	—	91.8	347.9	379.0%	523.7	797.0	152.2%
宮崎県	115.2	120.4	104.5%	—	—	—	67.3	62.9%	93.4%	182.5	183.2	100.4%
鹿児島県	1.5	49.5	3300.0%	—	69.0	—	6.6	51.0	772.7%	8.1	169.5	2092.6%
全国計	95,041.0	79,393.1	83.5%	48,778.9	49,591.0	101.7%	75,910.7	73,331.6	96.6%	219,730.6	202,315.6	92.1%

資料：(財)大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2010～2012年)

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item	Year	2010年 (平成22年)		2011年 (平成23年)		2012年 (平成24年)	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号 × 鐘和1号		3,420	26.2	2,729	24.6	2,806	27.6
錦秋 × 鐘和		2,400	18.4	2,100	19.0	1,818	17.8
ぐん × ま 200		1,627	12.5	1,388	12.5	1,443	14.2
春嶺1号 × 鐘月1号		2,072	15.9	1,419	12.8	1,175	11.5
春嶺 × 鐘月		1,001	7.7	1,002	9.0	838	8.2
かいりょう × あけぼの		487	3.7	435	3.9	416	4.1
松岡 × 姫		200	1.5	300	2.7	340	3.3
新小 × 石丸		355	2.7	396	3.6	324	3.2
芙蓉 × つくばね		300	2.3	180	1.6	143	1.4
上州 × 絹星		51	0.4	86	0.8		
世紀 × 二一		191	1.5	132	1.2	95	0.9
緑繭 × 1号		56	0.4	62	0.6	27	0.3
プ ラ チ ナ ボーイ		73	0.6	66	0.6	64	0.6
朝日 × 東一海				50	0.5	50	0.5
朝日 × つくばね		100	0.8	80	0.7	61	0.6
ぐん × ま 黄金丸		152	1.2	76	0.7	70	0.7
改良 × 小石 1号		87	0.7	78	0.7	33	0.3
白繭 × 細石 1号		115	0.9	77	0.7	93	0.9
小蚕 × 太		75	0.6	72	0.6	67	0.7
蚕技 × 研 11号		26	0.2				
分離白1号 × 支 106号		53	0.4	52	0.5	36	0.4
白繭 × 細 2号		8	0.1				
新極細 × 1号		14	0.1	2	0.0		
玉小 × 山石		30	0.2	5	0.0	15	0.1
鷹 × 山		16	0.1	22	0.2	15	0.1
支 21号 × 四 川 3 眠		25	0.2	20	0.2	5	0.0
又昔 × 中 515号		4	0.0	6	0.1	4	0.0
青熟 × 支 21号		5	0.0				
諸桂 × 紹 興		6	0.0	8	0.1	7	0.1
黄熟 × 白		4	0.0	1	0.0	1	0.0
青鬼 × 中 515号		5	0.0	15	0.1	33	0.3
い縮 × 中 515号		3	0.0	2	0.0	2	0.0
鐘ろ × ど		1	0.0	1	0.0	1	0.0
鐘光 × 黄長玉		39	0.3	134	1.2	55	0.5
太平 × 青安熟		35	0.3	30	0.3		
支 108号 × 青 熟		7	0.1	13	0.1	28	0.3
はく × ぎ 熟		5	0.0	7	0.1	7	0.1
秋光 × 竜 白				22	0.2	80	0.8
秋花 × 銀 嶺				5	0.0		
中 515号 × 又 昔				3	0.0		
琉球 × 多 蚕 繭				2	0.0	2	0.0
改良 × 黄 繭				2	0.0	7	0.1
山東 3 眠 × C5 号						10	0.1
緑繭 × 2号						7	0.1
合計 Total		13,048	100.0	11,080	100.0	10,185	100.0

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source：The Dainippon Silk Foundation.

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,928	8,261
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,826	7,586
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,409	7,186
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,696	7,131
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	9,028	6,271
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	—	10,926	2,456	17,526	428	8,422	6,229
2012	506	9,972	—	—	—	16,180	320	7,218	5,545
生糸年度 Silk Year									
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010	814	12,207	—	13,815	2,935	16,307	324	9,000	6,299
2011	654	8,541	—	9,907	2,348	15,540	433	7,725	5,945
2011 - 10	56	765	—	790	2,462	1,165	78	515	530
11	64	550	—	820	2,256	1,202	47	656	469
12	52	717	—	569	2,456	1,001	32	636	508
2012 - 1	42	1,185	—	992	2,691	1,590	39	804	291
2	47	481	—	761	2,458	758	13	242	513
3	48	870	—	970	2,467	1,143	37	782	555
4	56	0	—	491	2,032	1,092	25	564	506
5	53	1,757	—	1,494	2,348	1,531	11	668	438
6	49	460	—	631	2,226	1,316	40	692	479
7	36	637	—	627	2,272	1,544	38	605	483
8	24	903	—	626	2,573	1,499	18	575	423
9	33	891	—	1,035	2,462	1,365	6	630	462
10	38	799	—	708	2,591	1,523	43	665	494
11	36	1,122	—	1,062	2,687	1,612	35	624	432
12	43	867	—	—	—	1,207	15	553	469
2013 - 1	38	958	—	—	—	1,744	11	598	355
2	32	906	—	—	—	1,138	13	517	409
3	36	1,148	—	—	—	1,337	44	466	525

資 料 : (A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備 考 : 1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month+(A)+(B)} - {(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk					
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others	
暦 年 Calendar Year							
	2005	2,508	8	337	834	799	527
	2006	1,956	4	240	531	653	523
	2007	1,747	5	259	495	514	474
	2008	1,588	4	289	421	368	503
	2009	1,152	1	243	392	251	262
	2010	882	1	179	316	86	300
	2011	731	1	188	249	89	204
	2012	506	—	149	202	73	82
生糸年度 Silk Year							
	2005	2,024	6	261	510	726	518
	2006	1,794	4	269	480	562	475
	2007	1,762	5	276	443	495	537
	2008	1,378	1	291	447	280	360
	2009	1,029	—	205	358	208	242
	2010	814	1	176	273	55	309
	2011	652	1	164	239	117	134
	2011 - 8	53	1	9	24	6	13
	9	59	—	15	23	6	17
	10	56	—	23	14	12	7
	11	64	—	6	36	10	12
	12	52	—	19	10	16	7
	2012 - 1	42	—	7	9	16	10
	2	47	—	15	10	17	5
	3	48	—	6	33	3	6
	4	56	—	17	19	11	9
	5	53	—	23	8	13	9
	6	49	—	15	29	0	5
	7	36	—	11	10	4	11
	8	24	—	8	12	0	4
	9	33	—	5	21	0	7
	10	39	—	14	14	4	7
	11	36	—	18	16	0	2
	12	43	—	10	21	5	7
	2013 - 1	38	—	16	3	10	9
	2	32	—	6	12	5	9
	3	36	—	10	15	3	8

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 国産生糸価格実態

Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円／k g

(Unit: Yen/ k g)

Year & Month \ Size		21d	27d	31d	平均 Average
2005		3,870	3,173	3,107	3,383
2006		4,617	4,267	4,080	4,321
2007		3,961	3,625	3,573	3,720
2008		4,266	3,754	3,489	3,836
2009		4,171	3,598	3,136	3,635
2010		4,152	3,891	3,564	3,869
2011		5,261	4,923	5,260	5,148
2012		5,622	5,094	5,513	5,410
2011 —	1	4,267	4,287	4,127	4,220
	2	4,763	4,737	4,967	4,967
	3	4,800	4,619	4,556	4,658
	4	4,942	4,593	4,865	4,800
	5	5,188	4,699	4,853	4,913
	6	5,200	5,035	4,750	4,995
	7	5,600	5,109	5,327	5,345
	8	5,602	5,106	5,586	5,431
	9	5,778	5,237	6,078	5,698
	10	5,455	5,282	5,872	5,536
	11	5,733	5,138	5,657	5,509
	12	5,800	5,257	6,043	5,700
2012 —	1	5,745	4,908	6,119	5,591
	2	5,788	5,181	6,125	5,698
	3	5,859	5,006	6,177	5,681
	4	5,907	5,391	5,693	5,664
	5	5,190	4,973	5,300	5,154
	6	5,713	5,076	5,167	5,319
	7	5,700	5,088	5,208	5,332
	8	5,600	5,214	5,233	5,349
	9	5,278	4,931	5,267	5,159
	10	6,033	5,138	5,055	5,409
	11	5,168	4,984	5,300	5,151
	12	5,488	5,239	—	5,410

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料：（社）日本生糸問屋協会

Remarks: Japan raw silk actual condition price is average trade price among domestic dealers

Source: Japan Raw Silk Dealer's Association

(10) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit : 1,000Bales of
60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	152	16	0	0	15	1	136	43
対前年比 2010/09 (%)	95	75	100	102	100	100	107	102	80	100	—	—	100	100	78	91

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(11) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2005	2006	2007	2008	2009	2010	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		2.7	3.7	3.9	2.5	1.8	2.8	155.6	2.1
	女子用外衣類 Women's upper garments		59.9	56.6	50.0	40.2	37.1	38.4	103.5	28.9
	うちブラウス Blouse of the inside		3.7	3.5	3.0	3.4	2.8	2.4	85.7	1.8
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		5.8	5.7	2.2	1.6	1.1	1.0	90.9	0.8
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		16.1	15.1	15.0	16.3	13.5	13.9	103.0	10.5
	ハンカチ Handkerchief		1.9	1.0	0.5	0.5	0.4	0.3	75.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		3.4	2.7	3.0	2.9	2.5	2.2	88.0	1.7
	ネクタイ類 Ties		25.2	21.4	21.6	20.8	18.2	18.1	99.5	13.6
	メリヤス、クロセス編物 Knit.kurose knitting		19.9	18.5	21.2	19.8	15.9	17.9	112.6	13.5
	その他の洋装類 Other western clothes		26.7	26.3	25.4	23.7	22.0	21.0	95.5	15.8
洋装類計 Western clothes subtotal			161.6	151.0	143.0	128.3	112.4	115.6	102.8	86.9
和装類計 Japanese clothes subtotal			17.4	18.4	15.5	14.7	15.9	14.5	91.2	10.9
	うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside		14.1	16.0	12.9	12.1	13.9	12.5	89.9	9.4
その他 Others			2.1	2.5	2.5	2.4	1.9	2.9	152.6	2.2
合 計 Total			181.0	171.9	161.0	145.4	130.2	133.0	102.2	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source:The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note: Total may not added up due to round off.

(12) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month		項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks	
暦 年 Calendar Year					
2005		806	830	589	
2006		600	645	541	
2007		548	581	505	
2008		393	518	378	
2009		308	385	313	
2010		240	299	263	
2011		189	162	237	
2012		185	209	183	
生糸年度 Silk Year					
2005		837	693	390	
2006		562	599	349	
2007		502	583	266	
2008		406	452	224	
2009		324	337	209	
2010		260	281	188	
2011		202	224	144	
2011 — 10		41	20	256	
11		19	21	254	
12		0	17	237	
2012 — 1		4	15	226	
2		0	16	210	
3		0	16	194	
4		0	19	168	
5		9	18	144	
6		37	16	165	
7		24	12	177	
8		39	7	201	
9		3	11	193	
10		56	15	234	
11		4	11	227	
12		9	53	183	
2013 — 1		0	11	172	
2		1	10	163	
3		0	13	150	

資 料：農林水産省生産局調査(～2010. 3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～)。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～).

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(13) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2005	10	203	126	62	269	111
	2006	9	114	94	82	266	103
	2007	8	112	93	83	266	100
	2008	7	112	90	80	266	90
	2009	7	118	71	60	259	82
	2010	7	118	58	49	247	73
	2011	7	110	57	52	188	65
	2012	7	110	39	35	243	56
2011 —	4	7	118	55	47	21	66
	5	7	110	55	50	20	64
	6	7	110	52	47	21	60
	7	7	110	55	50	22	56
	8	7	110	53	48	20	64
	9	7	110	64	58	21	65
	10	7	110	57	52	21	66
	11	7	110	55	50	21	66
	12	7	110	57	52	21	65
2012 —	1	7	110	51	46	18	63
	2	7	110	48	44	19	63
	3	7	110	47	43	19	63
	4	7	110	53	48	22	57
	5	7	110	60	55	21	56
	6	7	110	50	45	22	56
	7	7	110	38	35	14	57
	8	7	110	24	22	20	52
	9	7	110	29	26	21	52
	10	7	110	40	36	23	56
	11	7	110	41	37	22	58
	12	7	110	39	35	22	56
2013 —	1	7	110	41	37	20	55
	2	7	110	36	33	21	55
	3	7	110	35	32	22	55

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.
2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.
3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(14) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年月 Year & Month	総計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計	製糸工場	生糸市場	生糸市場外	生糸輸出	受 入	引 渡	在庫数量
		Total	Filatures Mills	売買業者 Dealers	売買業者 Domestic Dealers	入業者 Ex and Importers	数 量 Accepts	数 量 Deliveries	Ending Stocks
暦 年									
Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	0	1,651	517			
生糸年度 (6～5)									
Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2011	2,348	2,348	304	0	1,481	583			
2011 — 3	3,563	3,563	288	0	2,511	764			
4	3,154	3,154	288	0	2,182	684			
5	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
6	2,932	2,932	213	0	2,110	609			
7	2,872	2,872	229	0	2,095	548			
8	2,882	2,882	243	0	2,168	471			
9	2,431	2,431	281	0	1,729	421			
10	2,462	2,462	273	0	1,664	525			
11	2,256	2,256	282	0	1,559	415			
12	2,456	2,456	288	0	1,651	520			
2012 — 1	2,691	2,691	277	0	1,825	586			
2	2,458	2,458	271	0	1,694	493			
3	2,467	2,467	273	0	1,696	498			
4	2,032	2,032	284	0	1,380	368			
5	2,348	2,348	304	0	1,481	563			
6	2,226	2,226	299	0	1,344	538			
7	2,272	2,272	283	0	1,474	515			
8	2,573	2,573	280	0	1,656	637			
9	2,462	2,462	267	0	1,698	497			
10	2,591	2,591	263	0	1,764	564			
11	2,687	2,687	248	0	1,842	597			

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～)。

(15) 蚕糸関係品目別輸入状況 (平成20年～25年5月)

Breakdown of Silk-Related Products Imports (2008～May. 2013)

	単位 Unit	平成25年(2013)		平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	24年/23年 2012/11 (%)
		(5月) May.	(累計) Accumulate d Total						
生糸・玉系計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bale s of 60kg	1,314	4,325	10,032	9,323	12,209	12,085	15,242	107.6
絹糸 Silk Yarn	俵 Bale s of 60kg	1,629	7,400	16,179	17,526	16,306	16,647	22,636	92.3
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bale s of 60kg	374	8,354	4,879	—	82	149	317	—
繭 Cocoon	kg	1,000	1,000	6,250	4,050	13,158	9,800	4,000	154.3
真綿 Floss Silk	kg	—	—	—	—	—	—	29,071	—
ペニ Peigne	kg	—	—	—	—	—	35,331	2,770	—
くず繭 Waste Cocoon	kg	7,745	8,365	6,457	10,885	9,395	33,450	23,770	59.3
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	—	—	—	—	202,220	—
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	19,848	42,640	107,023	98,732	134,852	103,122	193,125	108.4
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	27,593	51,005	107,022	109,617	144,247	171,903	450,956	97.6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	41,061	186,489	482,523	394,920	451,219	335,710	526,662	122.2
絹紡糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	27,622	72,404	140,188	118,404	104,374	97,554	143,585	118.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	465,513	1,580,960	7,403,581	8,545,903	9,029,003	8,996,010	11,540,335	86.6

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(16) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
年 月 Year & Month	Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦 年 Calendar Year						
2008	15,242 (137)	10,969 (102)	4,152 (35)	-	122	-
2009	12,085 (72)	8,170 (51)	3,855 (21)	-	41	-
2010	12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	-	32	-
2011	9,323 (63)	7,170 (32)	2,136 (30)	-	5	-
2012	10,032 (49)	8,628 (36)	1,403 (13)	-	-	-
生糸年度 Silk Year						
2008	12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009	12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010	12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2011	8,602 (53)	6,846 (21)	1,754 (32)	1	39	-
2011 - 8	547 (10)	292	254 (10)	-	-	-
9	420	420	-	-	-	-
10	765 (5)	491	272 (5)	-	3	-
11	550	325	225	-	-	-
12	717	697	20	-	3	-
2012 - 1	1,185	1,149	36	-	-	-
2	481 (10)	289 (10)	193	-	-	-
3	931 (6)	870 (6)	61	-	-	-
4	0	0	0	-	-	-
5	1,757 (5)	1,508 (5)	249	-	-	-
6	460	360	99	-	-	-
7	637 (6)	526	110 (6)	-	-	-
8	903 (5)	817	81 (5)	-	-	-
9	891	750	141	-	-	-
10	799 (7)	660 (5)	139 (2)	-	-	-
11	1,122 (5)	963 (5)	159	-	-	-
12	867 (5)	736 (5)	130	-	-	-
2013 - 1	958 (10)	918 (10)	40	-	-	-
2	906 (9)	698 (7)	207 (2)	-	-	-
3	1,148 (17)	1,083 (17)	65	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-
5	1,314 (25)	1,031 (15)	278 (10)	5	-	-

資 料 : 財務省関税局調査

備 考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(17) 絹糸の原産国別輸入数量 Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit：Bales of 60kg)

国名 Country 年月 Year & Month	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2008	22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009	16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010	16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011	17,526	—	10,384	5,129	7	—	1,131	212
2012	16,179	—	9,924	4,908	15	—	1,109	223
生糸年度 Silk Year								
2008	18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009	17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010	12,293	—	7,607	3,595	8	—	945	140
2011	15,540	—	9,060	4,364	44	—	1,713	303
2011 — 6	1,731	—	906	628	—	—	197	1
7	1,489	—	910	432	0	—	155	1
8	1,498	—	730	432	0	—	225	—
9	1,340	—	745	543	1	—	51	—
10	1,165	—	542	309	—	—	243	70
11	1,202	—	672	297	—	—	232	—
12	1,001	—	692	219	—	—	28	61
2012 — 1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	80
2	758	—	378	216	1	—	162	—
3	1,143	—	747	281	2	—	113	—
4	1,092	—	662	326	—	—	103	—
5	1,531	—	1,001	328	—	—	124	78
6	1,316	—	727	514	1	—	75	—
7	1,554	—	907	488	—	—	97	53
8	1,499	—	897	561	—	—	41	—
9	1,365	—	773	506	1	—	73	12
10	1,523	—	953	456	3	—	112	—
11	1,612	—	982	568	5	—	56	—
12	1,207	—	824	310	1	—	71	—
2013 — 1	1,744	—	1,080	612	—	—	52	—
2	1,138	—	616	429	—	—	93	—
3	1,337	—	940	342	5	—	50	—
4	1,552	—	880	574	—	—	95	3
5	1,629	—	1,012	545	1	—	71	—

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(18) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, K g/円

項 目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
年 月 Year & Month										
暦 年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2012	8,628	4,289	1,398	5,277	9,926	4,383	1,119	6,032	4,908	4,494
2011 - 7	389	4,893	100	5,918	910	4,990	155	5,741	432	4,726
8	292	4,570	254	4,964	730	4,922	255	5,594	763	4,710
9	421	4,483	-	-	745	4,665	51	5,991	543	4,792
10	491	4,174	272	5,310	542	4,735	283	5,833	309	4,655
11	325	4,199	225	5,209	673	4,432	232	6,027	297	4,681
12	697	4,469	20	5,492	692	4,309	28	6,313	219	4,560
2012 - 1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731
4	-	-	-	-	662	4,372	103	6,065	326	4,887
5	1,508	4,311	249	5,220	1,001	4,304	124	6,048	328	4,625
6	360	4,347	99	5,005	727	4,370	75	5,876	515	4,703
7	526	4,220	110	5,013	907	4,502	97	5,930	488	4,591
8	817	4,130	81	5,151	897	4,433	41	5,850	561	4,402
9	750	4,212	141	5,353	773	4,315	73	6,167	506	4,320
10	660	4,151	139	5,333	953	4,295	112	6,224	456	4,435
11	963	4,405	159	5,417	982	4,514	56	6,347	568	4,130
12	736	4,758	130	5,571	824	4,815	71	6,599	310	4,755
2013 - 1	918	5,103	40	6,180	1,080	5,172	52	7,079	612	5,084
2	698	6,029	207	6,284	616	5,574	93	7,318	429	5,362
3	1,083	5,733	65	6,749	940	5,959	50	7,806	342	5,789
4	-	-	-	-	880	6,106	95	8,026	574	5,974
5	1,031	6,132	278	7,271	1,012	6,311	71	8,405	545	6,105

資 料：財務省調査。通関統計による、単価はC I F価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(19) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位 : 1,000㎡)
(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
2011	10,418	4,105	2,615	198	1,292	4,338	1,615	2,719	1,979
2012	9,974	4,548	2,482	200	1,875	3,172	1,776	1,395	2,254
2012 — 1	801	365	199	16	151	255	143	112	181
2	818	373	204	16	154	260	146	115	185
3	832	379	207	17	156	265	148	116	188
4	832	379	207	17	156	265	148	116	188
5	866	395	216	17	163	275	154	121	196
6	887	406	221	18	167	282	158	124	200
7	866	395	216	17	163	275	154	121	196
8	743	339	185	15	140	236	132	104	168
9	719	328	179	14	135	229	128	101	162
10	880	401	219	18	165	280	157	123	199
11	880	401	218	18	165	280	157	123	199
12	849	387	211	17	160	270	151	119	192
2013 — 1	828	386	209	16	161	250	122	127	192
2	838	390	212	16	163	253	123	129	189
3	852	397	215	16	165	257	125	131	192
4	890	415	225	17	173	269	131	137	201
5	852	397	215	16	165	257	125	131	192

資 料 : (社) 日本絹人織織物工業会。

備 考 : 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver' s Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(20)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量		丹 後 Tango		長 浜 Nagahama		西 陣 Nishijin	
	Silk Fabrics Production		(白生地) (White Fabrics)		(白生地) (White Fabrics)		(帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	9,944	96.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2011 — 3	902	93.5	41,784	95.3	6,898	88.3	56,128	74.1
4	989	99.2	44,774	100.7	6,507	83.6	59,998	69.1
5	840	85.6	39,714	93.4	6,096	89.3	62,562	88.8
6	911	82.6	41,785	94.6	6,072	79.2	60,832	84.0
7	834	82.2	43,509	98.5	5,399	72.9	53,800	84.2
8	779	86.5	34,386	86.3	6,064	82.6	49,057	81.2
9	788	81.9	38,639	82.6	5,394	74.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,116	84.3	5,589	92.5	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,929	84.0	62,567	90.8
12	889	92.0	39,833	88.5	5,376	90.3	52,433	77.0
2012 — 1	801	98.4	29,890	91.3	4,787	87.8	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,632	93.4	65,046	107.4
3	829	91.9	37,766	90.4	5,306	76.9	62,163	110.8
4	829	83.8	42,234	94.3	5,614	86.3	57,688	96.1
5	863	102.7	33,283	83.8	6,109	100.2	56,873	90.9
6	883	96.9	43,214	103.4	5,335	87.9	47,616	78.3
7	863	103.5	39,999	91.9	5,967	110.5	47,268	87.9
8	743	95.0	31,797	92.5	4,052	67.0	45,892	93.5
9	716	91.0	39,579	102.4	5,051	93.6	44,900	73.0
10	873	106.0	36,734	93.9	5,159	92.3	55,813	108.2
11	877	100.5	38,312	102.5	4,994	84.2	56,530	101.3
12	849	95.5	40,343	101.3	4,904	91.2	54,067	103.1
2013 — 1	828	103.3	25,024	83.7	4,453	93.0	54,617	105.4
2	838	102.4	41,930	109.3	4,632	82.2	52,253	80.3
3	852	102.4	37,110	98.3	4,306	81.2	55,771	89.7
4	890	107.4	38,904	92.1	5,498	97.9	61,790	107.1
5	852	98.7	34,916	104.9	4,794	78.5	59,581	104.8
6			40,887	94.6	4,694	88.0		

資 料：絹織物生産数量は(社)日本絹人織織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備 考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(21) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item 年月 Year & Month	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts &sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
暦年Calendar Year												
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2011	287,826	▲ 2.5	11,549	▲ 1.0	369	10.0	4,218	▲ 4.2	2,388	3.1	1,186	2.9
2012	286,169	0.9	11,453	▲ 2.5	246	▲ 7.2	4,305	1.2	2,410	▲ 6.6	1,087	▲ 6.9
2011 - 8	282,008	▲ 4.1	8,921	1.8	456	159.0	2,693	▲ 9.6	2,059	▲ 2.8	943	▲ 0.5
9	270,010	▲ 1.9	8,709	▲ 5.0	221	▲ 44.4	2,966	▲ 3.7	1,895	▲ 1.6	863	▲ 5.1
10	285,605	▲ 0.4	13,099	2.3	625	161.8	5,023	▲ 0.2	2,790	4.8	1,201	▲ 7.4
11	273,428	▲ 3.2	13,230	5.6	490	122.6	5,026	0.1	2,649	10.0	1,280	▲ 1.1
12	328,080	0.5	13,786	7.7	54	▲ 21.5	5,382	3.3	2,547	10.9	1,644	15.9
2012 - 1	283,124	▲ 2.3	13,148	4.3	271	125.6	5,496	0.9	2,675	5.5	1,132	▲ 0.2
2	267,855	2.3	8,829	0.5	380	34.9	3,713	▲ 3.3	1,543	4.5	733	0.4
3	303,841	3.4	12,167	10.2	148	▲ 67.1	5,512	10.2	2,065	13.2	878	14.9
4	301,948	2.6	11,687	4.3	95	2.9	4,399	5.4	2,434	1.1	934	5.0
5	287,911	4.0	11,592	▲ 2.5	124	150.1	3,801	▲ 7.2	2,771	▲ 0.7	1,072	▲ 6.6
6	269,810	1.6	11,208	▲ 1.4	169	49.2	3,627	0.4	2,760	▲ 5.4	1,169	▲ 4.5
7	283,295	1.7	11,920	▲ 1.5	239	▲ 15.4	3,923	▲ 3.7	3,161	0.7	1,286	▲ 2.8
8	286,036	1.8	8,627	▲ 3.0	381	▲ 17.1	2,685	0.0	2,062	0.5	960	1.9
9	266,705	▲ 0.9	8,436	▲ 2.9	188	▲ 15.8	2,900	▲ 1.9	1,876	▲ 1.0	837	▲ 2.5
10	284,238	▲ 0.1	12,195	▲ 6.7	244	▲ 61.4	4,637	▲ 7.5	2,559	▲ 8.2	1,129	▲ 5.6
11	273,772	0.2	13,814	4.8	545	10.3	5,394	7.8	2,541	▲ 3.8	1,382	8.5
12	325,492	▲ 0.7	13,813	0.5	172	215.0	5,571	4.0	2,475	▲ 2.7	1,526	▲ 6.9
2013 - 1	288,934	2.4	12,301	▲ 6.7	28	▲ 89.8	5,208	▲ 6.0	2,592	▲ 3.3	1,110	▲ 1.4
2	268,099	0.8	9,117	3.8	194	▲ 49.2	4,053	9.5	1,647	7.6	738	0.8
3	316,166	5.2	13,271	9.3	138	▲ 7.3	6,177	11.2	2,357	16.1	848	▲ 3.2
4	304,382	1.5	11,762	0.6	134	41.0	4,557	3.5	2,512	2.8	868	▲ 7.5
5	282,366	▲ 1.6	12,400	6.9	231	87.0	4,077	7.3	2,956	6.4	1,142	6.1

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing&footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
		トン	トン	トン
日本	Japan	626	505	433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
		トン	トン	トン
日本	Japan	382	327	265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2009	2010	対前年比 2010/09	2009	2010	対前年比 2010/09
山 西	Shanxi	4,046	5,894	146	266	182	68
河 北	Hebei	1,200	1,500	125	—	—	—
江 蘇	Jiangsu	73,175	77,399	106	17,800	16,000	90
浙 江	Zhejiang	45,600	57,000	125	15,000	14,436	96
安 徽	Anhui	24,800	25,000	101	5,200	6,438	124
江 西	Jiangxi	7,602	7,000	92	2,900	3,591	124
山 東	Shandong	23,900	22,000	92	5,800	7,510	129
河 南	Henan	10,101	7,500	74	2,100	103	5
湖 北	Hubei	17,150	10,600	62	555	446	80
湖 南	Hunan	3,182	2,452	77	104	197	189
広 東	Guangdong	53,321	39,300	74	1,722	1,711	99
広 西	Guangxi	172,900	214,000	124	16,237	18,164	112
重 慶	Chongqing	17,311	17,200	99	4,200	4,000	95
四 川	Sichuan	70,000	71,000	101	14,900	14,900	100
貴 州	Guizhou	2,751	1,460	53	105	134	128
雲 南	Yunnan	30,230	40,000	132	2,237	2,138	96
陝 西	Shaanxi	17,200	17,600	102	3,263	3,664	112
甘 肅	Gansu	253	304	120	—	—	—
寧 夏	Ningxia	126	126	100	—	—	—
新 疆	Xinjiang	450	580	129	—	—	—
内 蒙 古	Inner Mongolia	—	—	—	66	64	97
合 計	Total	575,299	617,915	107	92,455	95,778	104

製糸工場数（件） Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン)(Unit: 10,000ton)

地域	Area	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	前年比 10/09(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	0.2	125
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	146
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai						0.0	0.0						
江 蘇	Jiangsu	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	7.7	106
浙 江	Zhejiang	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	5.7	125
安 徽	Anhui	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	2.5	101
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	92
山 東	Shandong	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	2.2	92
河 南	Henan	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	0.8	74
湖 北	Hubei	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	1.1	62
湖 南	Hunan			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	77
広 東	Guangdong	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	3.9	74
広 西	Guangxi	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	21.4	124
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	1.7	99
四 川	Sichuan	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	7.1	101
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	53
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	4.0	132
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	1.8	102
甘 肅	Gansu						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia						0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	61.8	107

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況

Silk Exports of China
(2012年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 インド	India	4,505,837	109.52	210,390	100.64
2 ベトナム	Vietnam	783,904	125.53	38,084	124.02
3 ルーマニア	Romania	729,411	100.11	35,729	93.89
4 日本	Japan	482,249	119.68	25,830	114.45
5 韓国	South Korea	412,421	88.43	20,393	83.14
6 イタリア	Italy	309,833	99.30	15,627	90.46
7 バングラデッシュ	Bangladesh	105,212	119.12	4,869	111.62
8 ミャンマー	Myanmar	99,217	120.59	4,827	114.80
9 ブラジル	Brazil	41,321	93.39	2,253	95.72
10 ブルガリア	Bulgaria	39,232	250.59	2,008	237.55
11 その他	Others	165,357	68.19	8,442	66.12
合計	Total	7,673,994	107.75	368,452	100.47

Silk Exports of China
(2013年1月～5月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 インド	India	1,502,598	87.24	80,337	100.62
2 ルーマニア	Romania	377,032	144.04	20,918	163.07
3 ベトナム	Vietnam	310,328	125.97	16,722	148.91
4 日本	Japan	225,436	110.93	13,487	125.30
5 韓国	South Korea	140,238	70.96	7,862	82.02
6 イタリア	Italy	129,436	107.50	7,446	123.37
7 バングラデッシュ	Bangladesh	49,313	94.80	2,678	119.10
8 ブラジル	Brazil	34,552	199.07	2,089	223.00
9 アラブ首長国連邦	United Arab Em	26,748	629.07	1,427	762.60
10 ミャンマー	Myanmar	25,744	63.64	1,424	76.60
11 その他	Others	59,816	69.74	3,366	78.96
合計	Total	2,881,241	97.62	157,756	112.86

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 日本	Japan	655,083	100.22	35,489	94.83
2 インド	India	399,229	45.92	19,203	43.04
3 イタリア	Italy	370,973	69.85	19,699	64.49
4 ドイツ	Germany	256,806	128.67	13,932	135.84
5 パキスタン	Pakistan	249,628	92.67	12,357	88.13
6 韓国	South Korea	188,559	103.41	9,625	98.64
7 タイ	Thailand	108,350	79.70	5,628	71.47
8 インドネシア	Indonesia	75,921	80.69	3,737	76.81
9 ベトナム	Vietnam	47,662	143.83	2,312	135.88
10 香港	Hong Kong	27,214	205.14	1,036	197.85
11 その他	Others	196,543	97.95	9,827	94.46
合計	Total	2,575,968	80.94	133,927	78.30

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 日本	Japan	312,316	122.50	18,450	136.61
2 イタリア	Italy	186,516	122.24	11,334	144.32
3 インド	India	172,283	84.30	9,422	101.54
4 ドイツ	Germany	112,861	93.05	6,936	108.18
5 パキスタン	Pakistan	61,163	53.27	3,511	64.14
6 韓国	South Korea	55,965	63.94	3,218	76.14
7 タイ	Thailand	38,978	87.88	2,356	108.10
8 インドネシア	Indonesia	22,850	61.38	1,291	72.18
9 カンボジア	Cambodia	20,191	598.07	0,548	312.58
10 リビア	Libya	13,220	130.37	1,085	145.79
11 その他	Others	65,813	60.30	4,069	79.23
合計	Total	1,062,156	93.15	62,220	109.60

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 パキスタン	Pakistan	60,795,118	123.71	221,429	136.62
2 イタリア	Italy	30,611,776	91.29	173,999	93.77
3 インド	India	22,883,399	71.21	107,334	74.15
4 香港	Hong Kong	14,413,983	98.38	104,429	102.96
5 韓国	South Korea	11,463,400	82.42	76,701	91.32
6 アラブ首長国連邦	United Arab Em	9,815,910	134.63	61,898	169.70
7 日本	Japan	9,265,038	89.70	43,154	92.75
8 マレーシア	Malaysia	7,114,607	111.84	38,315	100.89
9 アメリカ	United States	5,571,051	89.10	42,063	95.11
10 トルコ	Turkey	3,799,272	73.73	21,575	79.00
11 その他	Others	1,251,674	80.75	166,336	89.02
合計	Total	206,985,228	95.19	943,958	100.01

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 パキスタン	Pakistan	17,787,665	103.55	76,053	120.29
2 イタリア	Italy	10,765,177	83.23	64,106	88.46
3 インド	India	6,885,083	74.02	34,450	80.19
4 香港	Hong Kong	4,525,522	75.55	35,603	83.84
5 韓国	South Korea	3,948,417	76.04	28,401	82.94
6 アラブ首長国連邦	United Arab Em	3,788,420	107.26	23,768	111.39
7 日本	Japan	3,602,323	89.63	17,983	99.34
8 マレーシア	Malaysia	2,983,503	93.07	18,513	100.16
9 アメリカ	United States	1,872,179	74.01	15,773	86.55
10 トルコ	Turkey	1,794,325	105.19	11,381	120.26
11 その他	Others	9,814,231	72.44	60,887	88.42
合計	Total	67,766,845	85.63	386,918	94.41

資料:中国税関

Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関

Source: Customs General Administration in China

(6)中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2013年6月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		115.6 ~ 127.2	1,850 ~ 2,035
2	玉繭(double cocoon)		84.8 ~ 96.0	1,357 ~ 1,536
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	86.2 ~ 97.9	1,379 ~ 1,566
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	94.6 ~ 104.8	1,514 ~ 1,677
5	ビス(bisu)		73.5 ~ 80.8	1,177 ~ 1,293
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	379.6 ~ 385.0	6,074 ~ 6,160
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	383.4 ~ 388.5	6,134 ~ 6,216
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	371.3 ~ 376.3	5,941 ~ 6,021
9	玉糸(doupion silk)	110d	305.1 ~ 314.0	4,882 ~ 5,024
10	土糸(native silk)	110d	279.0 ~ 285.5	4,465 ~ 4,568
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	33.28 ~ 34.28	532 ~ 548
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	27.78 ~ 28.78	444 ~ 460
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	49.00 ~ 50.00	784 ~ 800
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	52.28 ~ 53.28	836 ~ 852
15	クレープデシ(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	44.19 ~ 45.19	707 ~ 723
16	クレープデシ(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	38.36 ~ 39.47	614 ~ 632

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=16円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

Remarks:Rate 1Yuan=16Yen

2013年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		158.6 ~ 172.9	2,538 ~ 2,766
2	玉繭(double cocoon)		116.3 ~ 127.4	1,861 ~ 2,038
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	119.6 ~ 131.0	1,914 ~ 2,095
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	128.7 ~ 140.9	2,059 ~ 2,254
5	ビス(bisu)		99.8 ~ 111.1	1,596 ~ 1,778
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	512.9 ~ 518.2	8,206 ~ 8,291
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	515.7 ~ 519.7	8,251 ~ 8,315
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	503.0 ~ 508.7	8,048 ~ 8,139
9	玉糸(doupion silk)	110d	399.4 ~ 411.3	6,391 ~ 6,580
10	土糸(native silk)	110d	368.4 ~ 378.3	5,895 ~ 6,052
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	44.25 ~ 45.58	708 ~ 729
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	36.19 ~ 37.53	579 ~ 600
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	68.00 ~ 69.33	1088 ~ 1109
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	69.55 ~ 70.89	1113 ~ 1134
15	クレープデシ(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	58.83 ~ 60.17	941 ~ 963
16	クレープデシ(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	51.92 ~ 53.25	831 ~ 852

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=16円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

Remarks:Rate 1Yuan=16Yen

(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額 (億元) Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1996年	9,249.4	6,893.3	1,269.4	801.7	12.0	11.7	4.9	19.2
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.4	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1
2011年	59,954.7	28,954.8	1,737.4	29,262.4	26.8	16.3	21.2	39.7

資料：中国統計年鑑(2012)

Source: China Statistical Yearbook 2012

(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対 前 年 増 減 率 (%) Indices (preceding year=100)							
					名 目 賃 金 Average Wage				実 質 賃 金 Average Real Wage			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1996年	5,980	6,207	4,312	8,521	11.8	11.8	9.6	10.3	2.8	2.7	0.7	1.3
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7
2011年	41,799	43,483	28,791	41,323	14.4	13.4	19.9	15.4	8.6	7.7	13.9	9.6

中国統計年鑑2012 Source: China Statistical Yearbook 2012

(9)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	7,498	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717	19,469
採掘業 Mining	16,774	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196	52,230
製造業 Manufacturing	14,251	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916	36,665
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	21,543	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309	52,723
建築業 Construction	12,578	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529	32,103
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	18,071	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466	47,078
情報通信コンピューターサービス Information Transmission, Computer Service and Software	33,449	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436	70,918
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	13,012	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635	40,654
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	12,618	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382	27,486
金融業 Financial Intermediation	24,299	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146	81,109
不動産業 Real Estate	18,467	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870	42,837
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	18,723	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566	46,976
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	23,351	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376	64,252
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	12,884	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544	28,868
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	13,680	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206	33,169
教育 Education	16,085	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968	43,194
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	18,386	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232	46,206
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	20,522	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428	47,878
公共機関、社会团体 Public Management and Social Organization	17,372	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242	42,062
合 計 Total	15,920	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539	41,799

(出所)中国統計年鑑2012

Source: China Statistical Yearbook 2012

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
製造業 Manufactur	192,389	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908	476,645
合 計 Total	214,920	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007	543,387
年別人民元yuan／円yenレート	13.50	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	13.00

(10) 中国省別従業員年平均賃金 (2011年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省（区）別 Region			年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)
北	京	Beijing	75,482	981,266	180.58
天	津	Tianjin	55,658	723,554	133.16
河	北	Hebei	35,309	459,017	84.47
山	西	Shanxi	39,230	509,990	93.85
内	蒙	Inner Mongolia	41,118	534,534	98.37
遼	寧	Liaoning	38,154	496,002	91.28
吉	林	Jilin	33,610	436,930	80.41
黒	龍	Heilongjiang	31,302	406,926	74.89
上	海	Shanghai	75,591	982,683	180.84
江	蘇	Jiangsu	45,487	591,331	108.82
浙	江	Zhejiang	45,162	587,106	108.05
安	徽	Anhui	39,352	511,576	94.15
福	建	Fujian	38,588	501,644	92.32
江	西	Jiangxi	33,239	432,107	79.52
山	東	Shandong	37,618	489,034	90.00
河	南	Henan	33,634	437,242	80.47
湖	北	Hubei	36,128	469,664	86.43
湖	南	Hunan	34,586	449,618	82.74
広	東	Guangdong	45,060	585,780	107.80
広	西	Guangxi	33,032	429,416	79.03
海	南	Hainan	36,244	471,172	86.71
重	慶	Chongqing	39,430	512,590	94.33
四	川	Sichuan	37,330	485,290	89.31
貴	州	Guizhou	36,102	469,326	86.37
雲	南	Yunnan	34,004	442,052	81.35
西	蔵	Tibet	49,464	643,032	118.34
陝	西	Shaanxi	38,143	495,859	91.25
甘	粛	Gansu	32,092	417,196	76.78
青	海	Qinghai	41,370	537,810	98.97
寧	夏	Ningxia	42,703	555,139	102.16
新	疆	Xinjiang	38,238	497,094	91.48
全国平均		Average	41,799	543,387	100.00

(出所) 中国統計年鑑2012 Source: China Statistical Yearbook 2012

(注) 1 元=13円 Note: 1yuan=13yen

(11)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)
1991/92	17,586
1992/93	19,134
1993/94	18,260
1994/95	16,260
1995/96	15,368 (95%)
1996/97	14,811 (96%)
1997/98	14,594 (99%)
1998/99	10,305 (71%)
1999/2000	8,473 (82%)
2000/01	9,916 (117%)
2001/02	10,238 (103%)
2002/03	9,966 (97%)
2003/04	8,005 (80%)
2004/05	7,146 (89%)
2005/06	8,051 (113%)
2006/07	8,617 (107%)
2007/08	6,266 (73%)
2008/09	4,835 (77%)
2009/10	4,439 (92%)
2010/11	3,038 (68%)
2011/12	2,619 (86%)
2012/2013 〔見込み〕 [Estimate]	2,431 (93%)

暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1991	2,077,155	34,619
1992	2,296,053	38,268
1993	2,325,809	38,763
1994	2,535,440	42,257
1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009	811,020 (69%)	13,517
2010	770,000 (95%)	12,833
2011	557,633 (72%)	9,294
2012	439,504 (79%)	7,325

資料:ブラタク製糸株式会社

注:()内は対前年比

〔〕内の見込みは2013年3月現在

Source: Fiação de Seda Brtac S.A

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of March 2013.

(12)ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移

Raw Silk and Thrown Silk Yarns Exportation

区 分		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
		kg %	kg %	kg %	kg %	kg %
日本	Japan	388,498 34%	442,264 44%	296,578 34%	294,346 38%	245,106 48%
ベトナム	Vietnam	381,433 33%	243,950 25%	308,464 36%	217,347 28%	126,563 25%
フランス	France	96,764 8%	101,391 10%	74,747 9%	53,441 7%	87,886 17%
イタリア	Italy	93,903 8%	83,032 8%	68,418 8%	143,159 19%	39,295 8%
韓国	South Korea	33,924 3%	43,844 4%	25,259 3%	27,916 4%	0
トルコ	Turkey	54,529 5%	21,370 2%	16,165 2%	21,131 3%	3,660 1%
ドイツ	Germany		6,095 1%		3,742 0%	6,143 1%
インド	India	68,687 6%	38,072 4%	73,181 8%	3,600 0%	0
チュニジア	Tunisia	8,466 1%	2,428 0%		2,609 0%	1,205 0%
スイス	Switzerland	17,861 2%	11,344 1%	758 0%	256 0%	0
その他	the others	6,232 0%	1,012 0%	3,189 0%	242 0%	200 0%
合 計	Total	1,150,297 100%	994,801 100%	866,759 100%	767,789 100%	510,058 100%

資 料 : ブラタク製糸株式会社

Source : Fiação de Seda Brtac S.A

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2013 年 9 月号 NO.32 平成 25 年 9 月 1 日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず